京城日報 朝刊

日滿華共同宣言けふ二周年
更に固し不動の鐵則
東亞交流へ輝く前途

【東京電話】十一月卅日は日華基本條約締結、日滿華共同宣言が成立し、三國共同の理想が中外に闡明されてより早くも二周年に相當するが、この日こそは日滿華三國修交に不動の基礎を確立した歷史的意義を有する記念すべき日である、大東亞戰爭完遂のため三國がその共同運命の立場からも一層の緊密なる關係を保持すべきことが要請され、さらに大東亞共榮圏確立の中核として今後三國に負荷された使命のいよいよ重大なる折から、恰もこの日を迎へることは獨り日滿華三國民の歡びであるばかりでなく、大東亞全民族の齊しく慶賀するところであり、その意義は眞に深いといはねばならない【寫眞＝（上から）東條首相、張滿洲國々務總理、汪中國行政院長】

日滿華三國の提攜については、昭和七年九月滿洲國承認の日滿議定書が調印せられてよりわが國と滿洲國の間に友好的協力の基礎が成立、爾來米英の意識的妨害にも拘らず兩國の關係は緊密の一途を辿りわが國の同國に對する援助育成と同國自身の新興强靭なる建國精神はよく今日の大滿洲帝國を實現せしめるに至つた

昨年十二月八日帝國が米英に對する宣戰を布告するや、滿洲國皇帝陛下におかせられては即日時局に關する詔書を渙發あらせられ、一德一心の大義に則り國民を擧げて盟邦帝國の聖戰完遂に協力すべきことを國民に照示し給ひしことは、戰爭完遂に對する兩國の共同目的を鮮然ならしめるものであり、ついで本年六月滿洲國建國十周年に際しては、畏き邊りでは高松宮殿下を御名代として御差遣、同國の記念すべき日を御祝福あらせられた、これが謝意として張特派使節の訪日など、日滿兩國の關係は十年の友好を紐帶として益々その提攜協力を緊くしつゝある、また日華の關係に就ては、昭和十五年三月汪精衞氏を主席とする支那新政權が樹立されてより、わが國は新政權維持育成の大方針のもとに全力を擧げてこれを援助し、同十六年六月には汪主席の來朝あり、日華基本條約にもとづく兩國の友好關係が再確認された、大東亞戰爭勃發と同時に國民政府は帝國と同甘共苦の建前より確固不拔の精神をもつて艱局に處せんとする決意を表明、大東亞共榮圏の一環としてあくまでも帝國と運命を共にし、戰爭完遂へ挺身することになつた、本年五月國民政府はわが國の不斷の援助に謝意を表するため褚民誼氏を首班とする特派使節を派遣、これに對し去る九月には平沼、有田、永井三特派大使よりなる答禮使節が南京を訪問、日華兩國の紐帶を一層固からしめたのである

また滿洲國と國民政府との關係については兩國が地域的にも經濟的にも相通ずる立場にあり、本年五月汪主席は滿洲國を訪問、兩國の親善提攜が一層拍車をかけられてゐる、かくて日滿華三國は東亞交流の輝かしき前途を目標としてその共同の敵たる米英擊滅の窮極目標へ總力を傾けて邁進しつゝあるとともに、共同宣言により明示されたる不動の原則をいよいよ發揚すべく政治、經濟、文化の各方面に對する强力な提攜が一段と推進しつゝあるが、今回三國提攜の記念日を迎へて大東亞戰爭完遂に對する三國の決意一しほ新たなるものがあり、これを契機としてその結束は盤石の礎きを加へて行くであらう

小磯總督、寧越郡廳を視察

【寧越にて岡林特派員發】平北の視察のため廿八日午後京城發列車で發つた小磯總督は廿九日午前八時四十分孟中里驛着、渡邊知事の出迎へを受け自動車で寧越郡廳に入り、大山郡守から簡單な說明を聽き『しつかり頼みますよ』と何時もの通り激勵の言をなし、長村國民學校を一巡して行程八十キロを走破して正午頃寧越井村、宿舍日光クラブ寧越館に入つた

條約は精神なり
汪主席 國民に告ぐるの書

【南京廿九日同盟】日滿華共同宣言および日華基本條約締結二周年の意義深き日を迎へるに當り、國民政府主席汪精衞氏は廿九日『全國民に告ぐるの書』を發表、同條約は不變をもつて萬變に應ずる大方針の具現として重要なる役割を果し來つた所以を指摘するとゝもに大東亞戰下中國の向ふべきところを闡明、中國民衆に對し總蹶起の大號令を發した、全文左の通り

一昨年十一月卅日、日華基本條約が締結され、日滿華共同宣言が發せられ、昨年十二月八日大東亞戰爭は勃發した、この條約および宣言は世界情勢の極みなき變轉に對應するため東亞樞軸を結成したもので、大東亞戰爭は即ち世界の極みなき變轉が追ひ迫つて來たところに必然的に胚胎した事態である、一昨年の條約および宣言があつたればこそ

大東亞戰爭 が勃發したとき日滿華三國が一致協力各々その負ふべき責任を擔ひ得たのであつた、また大東亞戰爭が起つたゝめ條約の精神を推進發展することが出來たのである、そのもつとも重要な實例をあげれば、これまでの所謂和平とは單なる善隣友好に過ぎなかつたが、今ではさらに進んで同甘共苦をなすに至つた、また從來所謂大亞細亞主義、東亞新秩序及び東亞共榮圏の建設などはたゞ理想であつたが、今では進んで事實となつて現はれた、要するに條約はわれわれに中華復興、東亞保衞への方向を指示したもので、大東亞戰爭はこの方向に一條の大道を切り開きわれわれをして邁進前進せしめたのである

われわれは 【民國二十八年十一月廿九日和平の主張を發表して以來至難の路途を辿つて來たが、その間ますますわれわれの主張の確實なることが立證されたのである、百年以來米英帝國主義は世界を壟斷した、米洲は併呑せられアフリカは分割され、濠洲も亞細亞西半も亦併呑された、彼らはそのあくなき貪慾と勢力とをもつて南洋および東太平洋兩方面から東亞に向つて包圍侵略して來たが、その侵略は遂に止まらざるを得なくなつた

百年以來の歷史はすなはち東亞民族の生存を競ふ歷史であつた、百年以來もし日本が存在しなかつたならば東亞は早くから失はれてをり、從つて中國は如何にして獨り存在し得たであらう、國父は『日本なければ中國なく中國なければ日本なし』と述べたが、これは

百年以來の 時日をもつて示され殊

聖戰完遂と半島
本社主催座談會（一）

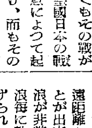
米、英擊滅の烈々たる一億の闘魂は沸りに沸る、大東亞戰の火蓋が切られて滿一年、卓越せる統帥と前線三軍の無双の忠烈は史上未だ曾てなき赫々の戰果を擧揚し、北はアリユーシヤン列島より南は印度洋、南太平洋の全海域に亘る廣域の戰線に極めて優位なる戰略的態勢を確保し、不敗の態勢は輝かしき祖國の明日を指向確約してゐる、とはいへ、戰爭はこゝに一段階を經たに過ぎず、一億が負荷する聖戰完遂への課題は決して生易しいものでないことを銘へ、瞬時の偸安を許さず、堅忍敢行を要請してゐるのである、北邊援護、大陸推進兵站基地たる半島が聖戰の方途に處するにも、また各層各層の總力蹶起が正に喫緊のことでなければならぬ、鍛魂殉國の皇民錬成、不敗の構へを固うすべき生産擴充は果して完璧か――われらに投げかけられた戰爭目的完遂の數多の命題を解き、最後の勝利の基礎を築くため本社では半島指導の要位を擔ふ松本海軍武官、多田朝鮮軍參謀、兵頭總督府企畫室長、尾高城大教授、橫瀨東亞貿易社長、大家總力聯盟錬成部長等を迎へ、高邁なる識見を聽くべく『大東亞戰爭完遂と半島』を語る座談會を開催した【寫眞＝『大東亞戰爭完遂と半島』を語る座談會】

高木本社編輯局長 大東亞戰爭が始まりましてから滿一年目が間近になりました、あの感激の朝に始まる一年間のことを振り返りますと、御稜威の下、皇軍將兵の果敢なる攻擊戰闘によつて振古未曾有なる大戰果が次から次に擧げられて居りまして、われわれの感激といふものは轉に無量なるものがあるのであります、われわれは茲にますます戰意を固うして戰爭完遂に邁進しなければなりません、つきましてはこの際われわれは過去一年を追想して何を反省し、明日に備へて何を考へ如何なる構想を持つべきであるか、それを御出席の皆さんに伺ひたいのであります 皆さんは それぞれ專門の御方々でありますから、その御腹藏なき御意見を伺ひましたらそこには必ずや國民を啓めこれが指導に適切なる示唆を與へられるところの貴重な御話があることと存じます、これを紙上に掲載して以て半島に負荷された實務を果す上に些かでも寄與したいといふのが私共の微意であります

本社 それでは先づ最初に松本武官から、海戰より見た大東亞戰爭の意義と太平洋圏の將來といつたやうなことについてお話し願ひます

我に必ず神助あり

松本海軍大佐 第一に述べたいことは、わが皇國日本の古來の戰爭にはいつも御稜威のもと天佑神助があるといふことであります、これは啻に私共が平素左様に考へてゐるといふのではなくてこれを史上に徵して見ても、彼の元寇の役における際の如く、神風が起れば忽ち蒙古の軍勢は博多灣の藻屑と化し、また日清、日露の役の如く、何れもその戰が皇國日本の聖意によつて起り、而もその戰ひがわが國運にかゝる重大決戰であるといふやうな場合には常に神威不可思議なる奇蹟的な現象が醱きかけてゐるといふことであります、日本海々戰の直前、東郷元帥が大本營に宛てて打たれた電報の中に『天氣晴朗なれども波高し』といふことがありますが、若しこの日の天候が逆に『本日濃霧深くして海上靜穩なり』といふことであつたならばどんな結果になつたことでありませう



當時我が聯合艦隊は鎭海灣に集結してゐて敵艦來るや遲しと待ち構へその間一發の彈丸と雖も空しく擲つまいといふので、それこそ晝夜不眠不休、惡天候をおかして射擊の猛訓練をなし、將兵ともに胸に必勝の信念、腕に必中の確信を抱いてゐたのであるが、天候は幸ひに快晴で、遠距離から早く敵を發見することが出來たのであります、また浪が非常に高かつたために、一浪每に敵の艦艇が海上高く上げられたわけであります、何故艦が海上高く持上げられると都合がよいかと申しますと若しこの反對に浪が穩かで艦が高く浮び上らないと、幾ら彈丸を擊つても彈丸は艦の水線上にだけ命中するのであれだけの効果は擧るものではありません、ところが幸ひに浪高く敵艦が水平線上高く浮び上りましたのであれだけ澤山の敵艦が擊沈されたといふことになるのであります これも一つの奇蹟でなくてなんでありませう

大東亞戰また然り

またこの度の大東亞戰爭においても、その要點から東は眞珠灣、西はマレー半島にかけた廣大なる地域に亘つて而も一齊に作戰の火蓋が切られたのでありますが、御稜威のもと抑々この戰が所謂不遜なる米英に對して眞にわが國家の存立自衞上やむなく起ち上つた正しい戰ひ、臨ち聖戰である以上、皇軍將兵は一人として生還を期さない、決死の努力を集中した戰ひであつたのでありますが、こゝにも天佑神助は歷然として顯現されてゐるのであります、既ち緒戰においてあの通りの戰果を擧げ得たのは、皇軍將兵の生還を期せざる殉國精神の發露であることもさることながら、これを天佑神助といはずして何でありませう、眞珠灣の奇襲作戰に對し、敵側では、その後あれは不意打ちを喰つたから負けたといふやうなことを國民に對して言ひ譯をやつてゐますが、當時ハワイにゐた敵太平洋艦隊司令長官は、本國の海軍作戰部長から日米國交の斷絶を豫期して警戒の指令を受けてゐたといふことは事實であります、ところが敵は日本の惡天候で、よもや日本海軍がこんなところまで來ようとは豫期せず、且また荒天のために恰度敵艦隊がみな眞珠灣に集結してゐたわけであります、ところがこのまゝ天候が惡ければこれまた大艦であるが、恰度ほどよいところに我が艦隊が着いて、飛行機を飛ばして攻擊に移るその朝から晴れて來たので、あれだけの大戰果を擧げ得たのであります

一方フイリツピン、マレー方面の海陸共同作戰においても見て若しあの時海上が大時化であつたならば幾日も幾日も上陸作戰は出來ず、その間に敵に發見され、また敵に戰備の餘裕が出來たならばどんな結果になつたでありませう、要するにあの十二月八日を期して一齊に大作戰が行はれあの廣大な海域に、どこの作戰もどこの作戰もみな天候に惠まれたといふことは、これまた非常に奇蹟と考へるのであります、私はこの大東亞戰爭開始以來、これら具體的な事實の數々から深くこれを自ら感得しさうして固くこれを信じてをります、しかもそれは大義明分のもとに凡そ人間が己の力のあらん限りの努力を盡した後に來るものであるといふことを一言附言致したいのであります

大義明分、人力の極
神國日本に天佑あり

出席者（順序不同）
松本一郎海軍大佐（京城海軍武官府）
多田督知陸軍中佐（朝鮮軍參謀）
兵頭 儁氏（本府企畫室長）
尾高朝雄氏（城大教授）
橫瀨守雄氏（朝鮮東亞貿易社長）
大家虎之助氏（總力聯盟錬成部長）
【本社側】高木編輯局長、豐福編輯局總務、高田政經部長、濱社會部長、村岡政治部次長
時 十一月十六日
所 銀行集會所

創造に協力することゝなつてゐる、兩國共存共榮の基礎を確立したもので、さらにこれを日滿華共同宣言に擴大したのもまた同一の基礎によつたものである、百年以來日華兩國は その境遇を相同じくしてゐたが外交、軍事の方針が異つてゐたことに兩國紛爭の禍根があつた、いまやこの禍根は一掃され、兩國の目的は同じく

意思は一つ となり、內は東亞民族の團結を計り外は東亞の共敵に對抗し、一旦大東亞戰爭が勃發するや日本は國力を擧げて前線を擔當し中國と滿洲國は後方を擔任し前線將士をして後顧の憂ひなからしめた、かくの如き團結精神は百年以來まだ見ぬところで、大東亞戰爭の勝利もまたこれによつて決定し得るのである、條約は一種の外交辭令ではなく一つの精神である、かかる精神は一つの力を發生するものである、この力は時局を推進しわれらをして最後の目的に到達せしめ得るのである、いはゆる中華復興、東亞保衞はこれである、全國民はこの事を認識すべく第一に信念を固め不屈不撓の精神をもつて前途に向つて邁進すべく、第二に力を絶えず强化してさらに大なる困難を克服し、さらに大なる責任を擔當せねばならぬ、第三に絶えず反省し自己の缺點を發見し

自己の缺點 を認め、自己の缺點を矯正して はじめてこの 進歩を促すことが出來るのである

條約成立以來既に二ケ年を經過した、我々は 全面和平がなぜ實現しないかといふことを反省しなくてはならぬ、附屬議定書には明かに兩國間において全面和平が回復し戰爭狀態が終了した秋に撤兵を開始し、治安の確立に伴つて二ケ年以內に撤兵を完了すると規定されてある、これは民國廿七年十二月に約束され廿九年十一月卅日條約と一緒に調印された、當時もしこの十二月廿九日附の和平通電が重慶側によつて受け容れられてゐたならば、すでに四ケ年を經た今日では撤兵が完了されてすでに二ケ年を經過してゐたはずである、またかりに附屬議定書の調印されたその日より重慶側がわれわれに協力したとすれば、今日までにすでに二ケ年、すなはち今日は

撤兵完了の 時期が恰度到來した時期である、撤兵は 日華双方にとつて有利である、すなはち日本にとつてはその兵力を移動して大東亞戰爭に用ひ、前線の兵力をさらに强大なものと なすこと が出來、中國にあつては自力をもつて治安の確立を保障し、また兵力を前線にあてて日本に援助をなすことが出來、大東亞戰爭最後的勝利の到來を促進するとが出來るのである

今日なぜにわが 國において 兩軍が對峙の狀態をなし、戰爭の終結全面和平の回復を不可能にしてよいのか、われわれはこゝに想ひを致す秋、重慶側が甘んじて和平の障碍となり東亞の叛逆者となつてゐることを痛恨するとゝもに、さらになぜに重慶をして飜然悔悟せしめ東亞の同志になし得ないのかと自己を問責すべきである、われの誠意と努力が未だ足らざるかも知れぬが、重慶側においてあくまで頑迷であるならばわれわれは如何にしてこれを感化し

和平の障碍 東亞の叛逆者たらしめないやうに出來ないのか、果してわれわれの誠意と努力に未だ至らざるところがあるのであらうか、われわれは今日中國民衆の受くる一切の苦痛の十中八、九はほとんど全面和平の未だ至らざるためであるといふことを知らなくてはならぬ、かゝるが故にこの責任は重慶側において負ふほかわれわれもまた絶對的に回避し得ない、われわれは單に現在受けつゝある苦痛に對し呪咀、呻吟するだけでは役に立たぬ、全國民は誠心を振ひ起し和平の障碍東亞の叛逆者に向つて擁護懷柔を加へなくてはならぬ、また我々の人民を敎化しこの擁護懷柔の工作を擴大せしむることが當面の實務であり痛苦を解除することも有利な方法である

友邦日本が大東亞戰爭に蹶起し中國が同甘共苦を聲明して以來既に一年を經過した、われわれはこの間一體何を共に苦しんだかと反省して見る必要がある

私は一般の 人の中には將來において同甘すべきや否やについて疑ひをもつものがあるを知つてゐる、かゝる懷疑は絶對無用である、これはいたづらに自己の方向を動搖せしめるに過ぎぬ、大東亞戰爭以前すでに道義を基礎とする東亞新秩序の建設について條約の取りきめがあり、大東亞戰爭以後にあつては各條約國は各自が有力なる一員たることに努力し、もつて大東亞戰爭の勝利を獲得する必要のあることは何ら疑ひを入れる餘地がない、今

千載一遇の秋
中國民衆、蹶然と起て

日われわれが最も緊要とするところのものは、現在の共苦をもつて將來の同甘を求めることである、換言すれば將來の同甘は現在共苦中にこれを求める、共苦は耕作であり同甘はその收穫である、精神的には耕作のみを考慮して收穫については これを問はず因果關係においてはこの耕作あつてこそはじめて收穫が生れるといふことであり、中國

不斷の努力 をもつて大東亞戰爭に貢獻することが出來るのである、すなはち中國は大東亞戰爭中においてその力量を絶えず增加することが出來れば、これすなはち共苦である、換言すれば共同は大東亞戰爭後において强力となるべきものではなく大東亞戰爭において一歩一歩强力となりの努力が所謂同甘を生み共同の享樂をなし得るのである、これは單なる空言に終らしめることでなく實際的に實現することが肝要でわれわれは一年以來此か軍備の整備を行つたが、かゝる軍備をもつて果して共匪の剿滅治安の保障をなし得るや否や深く反省する必要がある

一年以來われわれもまた些かの物資を供給したが、しかし農業の回復、工業の振興など未だ實現せざる今日、その貢獻し得るところ極めて僅かであつたことを深く反省する必要がある、かゝる

反省ののち にさらに實際的の努力を加へるべきである、國民政府强化のスローガンはなぜに必要であるか、全面和平促進のため國民政府は强力とならざるべからず、大東亞戰爭に協力するために國民政府はさらに强力とならなくてはならぬ、これは一般國民の當然有すべき常識である、今年の元旦にわれわれはなぜにわが國民運動を起したか、それは事態の使命の餘りにも重大なると重大時局の到來を自覺し精神總動員をもつて一切を擔當しなくてはならなくなつたからである、中國は大東亞戰爭以前に苦しい境遇にあつたが、大東亞戰爭勃發以後にあつても過去の敵意未だ癒えず當面の困難未だ大なるものがある、しかしわれわれは國父孫先生の指示されたところに從ひ大

亞細亞主義 の原理を探究すれば、過去の頑迷な米英帝國主義のしからしめたところであることが明かとなり、これによつてさらに現下の時局こそまさにわれわれに與へられた米英帝國主義の打倒、中國解放の千載一遇の機會であることが瞭然となる、この機會に後れれば中華復興は希望を失ひ東亞保衞もまたその希望を消滅するに至る故に、新國民運動は中華復興東亞保衞をその目標とし、しかして勇猛精進、克己勵行の精神をもつて實行する全國民はこの精神を心に銘記し躬實に實行してはじめてこの重大なる責任を負ふことが出來るのである

また全國民は勇猛精進、克苦耐勞の精神をもつて團結し、自己を犧牲するほか

友邦人士に 對してはつぎの如き心がけをもつて臨む必要がある、第一に相互に理解信頼の觀念をもつべきである、これは誤解を除き合作を促進する基本で、如何なることも必ず國家のためにといふ高所大局より着眼し、個人の利益を犧牲にして共同の利益を獲得し他人の立場を諒解して自己の感情を抑制し、他人の誠意に信頼して自己の努力を輝騰する、かくして一切の事態につき他人の諒解を求むるにおいては自己が他人に信頼される所以となるのである、第二に謙敬自重の態度を持すべきでわれわれの謙敬は至誠であり、虛僞であつてはならぬ、友邦は先進國であり、友邦の將兵および國民は現在東亞保衞の

前線を擔當 してゐる、われわれは友邦國家及び彼ら各個人に對しすべての謙敬の態度を示すべきである

われわれの自重は責任をもつことであり驕慢であつてはならない、驕慢の反面は卑屈である、われわれはもとより驕慢であつてはならぬが、また卑屈であつてはならぬ、友邦はわれわれが東亞保衞の同志たることを望んでゐるのであつて同志たるには忠貞であり、しかして强力であることが必要である、卑屈は決して忠貞たり得ず、又强力とはなり得ない、これを要するに謙敬自重の四字は一方においては

誠をもつて人に對し他方においてはわれわれに對することである、これはわれわれが深く認識しかつ堅實に力行すべきことである、われわれはかくてはじめて

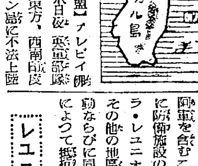
合作を語る 資格が出來個人と個人の合作より進んで國家と國家との合作に至つて自由平等の獲得があり得るのである、總言すれば日華基本條約および日滿華共同宣言は東亞をして一新時代を劃せしめたもので、大東亞戰爭勃發に至つてはさらに一歩を進めまた一つの新時代に入つたものである、われわれは新しい精神をもつて新しい生命を創造し、新しい時代に邁進しなくてはならぬ

以上は全國民が大東亞戰爭遂行中において日華基本條約および日滿華共同宣言二周年記念日を迎ふるに當り當然有すべき認識と努力である

英、又も不法
レユニオン島（佛領）に上陸

【ビシー廿八日同盟】アレビイ佛領レユニオン島總督發表によれば、英軍部隊は廿八日早曉マダガスカル島東方、西南印度洋上の佛領レユニオン島に不法上陸した旨、つぎの通り發表した

英軍部隊は廿八日午前四時卅分レユニオン島に上陸した、一部海軍を含むこれら侵略部隊はすでに防備施設のない首都サンデニ・ラ・レユニオン市を占領したが、その他の地區では夜間警備隊の活動ならびに同島總督の敏速な決斷によつて抵抗が行はれてゐる



レユニオン島

レユニオン島はマダガスカル島東方約五百キロの西南印度洋上に位し一六四三年はじめてフランスが領有し、その後一八一〇年英國の占領するところとなつたが、一八一五年再び佛領となり爾來今日に至つてゐる、面積二千五百十二平方キロ、人口廿萬八千八百五十八人（一九三六年調査）首都サンデニは人口三萬六百七十二人を算へその他サン・ピエール、サン・ポールの海軍基地のほか、ポアント・デ・ガレの良港がある、主要生産品は砂糖、ヴァニラ、酒精などで一九三八年の統計によれば輸入二千六百三十九萬フラン、輸出二千萬六千四百フランとなつてゐる

誤解から自沈
佛海軍辯明

【リスボン廿八日同盟】ビシー來電によれば、佛海軍省は廿八日夜ツーロンの佛艦隊自沈は國際法にもとづくものである旨次の聲明を發した

佛海軍各部隊司令官は千九百四十年の獨佛休戰當時から麾下艦艇を國の如何を問はず外國に引渡すよりむしろ自沈せしめよとの一般的常時命令を受けてゐた、佛陸海空軍省がツーロンを占領し佛艦隊を抑留せんとするドイツ政府の決定を接受したのは事後のことであつた、當時すでに兵器廠は占領され陸上の海軍司令部は自由を失つて了つてゐたため港內にはすでに事件が惹起されたのちで佛艦艇は自沈の最中であつた、佛海軍はその傳統に從ひすでに與へられた常時命令に服從してゐたのである

井野軍人援護會長北上

【釜山電話】滿洲國軍人援護會々長井野英一氏は廿九日夜釜山上陸北上したが、談話で語る

大東亞戰一周年を迎へるにあたり日滿一體の軍人援護强化をはかる具體策に關し折衝して來た、從來滿洲國においては關東軍、滿洲軍、滿鐵を對象に軍人援護事業を展開して來たのであるが今回の打合せにより日滿を通ずる軍人援護事業が一元化された、軍人援護强化徹底に關しては軍人援護會が協和會の外郭團體となつて表裏一體、各地區の民衆を指導趣旨の徹底を期してゐるが、官民一致の協力が何よりも必要であると思ふ

宋美齡入院

【廣東廿九日同盟】重慶來電によれば、重慶當局は宋美齡今回の渡米につき宋美齡は廿七日ワシントン着、直ちに某病院に入院した、右は五年前の負傷が一旦治癒したが、最近とかく健康勝れず、徹底的治療の必要があるため治療後は當分ホワイトハウスに滯在する豫定である旨發表した

保健飲料 日東紅茶
發賣元 三井物産株式會社
製造元 三井農林株式會社

結核の治療に迷ふ方へ
贈呈
の實相を知り一日も早く全快の參考とせられよ。
肺病、肋膜等結核の諸病は些細な療養の間違ひが意外に全快を妨げ唯一の藥劑では良結果は得られない。全快者座談會や研究會を通し又唯一の綜合療法ホルグナルチヨウシンを斷然推奨完成せしめ常に眞摯な努力をみ續々信頼を高めつゝある本部の
鬪病錄・座談會記錄等實地經驗者自らになる眞摯な參考資料＝無代進呈＝『京城日報』にて見た旨を記し＝大阪府吹田局私書函・結核治療研究所相談部＝へ申込まれよ。

カルツ ユキクリーム
女性も益々忙しい
身嗜も簡潔に
非常時の整容は健康な素顏美でなければなりません……そこで品質優良な榮養クリームがどうしても必要

化膿 疾患
扁桃腺炎 丹毒
外傷化膿 膿瘍
本劑が最新多基性化學療法劑として名實共に賞用されるのは、獨自のゴール率組成によつて一基性スルヘミンの不足を補充し、二基性ヂメチールアミドの不滿を消去するのみでなく、更らに相乘作用による協力的治療作用を强度に發現し治療期間を有利に短縮するが爲です。
顯然も三・四服用法により、疼痛腫脹分泌物の消退等は服用數日中に發現します。即ち本劑五十四錠を一日三回六錠宛三日間に連續服用しあと四日間休止して化學的治療力の充滿をまつ。急性は1クール慢性は4クールを單位として追服す。
1クール 五四錠 一円五十錢
2クール 一〇八錠 二円八十錢
4クール 二一六錠 五円三十錢
病院大量用 五〇〇錠 十二円
全國藥店にあり
東京市芝區濱新町十三 總代理店 合名會社 河原商店
ケンゴール（內服）

肩凝り
ロイマチス
神經痛
筋肉や關節の痛み、或ひは腫れには…たゞ…擦り込むだけで深部の疼痛を緩解
擦り込むだけで効く……
五十錢 一圓
サロメチール

オリヂナルクリーム

衛生口錠
カオール
口中殺菌劑
株式會社 安藤井筒堂藥品部 東京・日本橋

社説　日滿華共同宣言二周年

一

昭和十五年十一月卅日、日華基本條約の締結、日滿華三國共同宣言によつて、日滿華の共同理想たる東亞新秩序建設の礎石が築かれてこゝに滿二年、大東亞戰爭滿一周年の近からんとする日、その記念日を迎へることは極めて意義深いものがある。即ち國民政府は日滿の正式承認、その後の獨伊以下樞軸九ケ國の承認、また昨年十一月廿四日の防共協定參加によつて、その國際的地歩を固めると共に世界的樞軸陣營への加盟を一層鮮明ならしめたのであるが、大東亞戰爭勃發するや、この日華基本條約の精神に則り、東亞共同の敵たる米英擊滅の聖戰に欣然合流、帝國と相提携して、大東亞共榮圈建設の戰爭完遂に積極的協力をなすべく、その決意を中外に闡明したのである。

二

帝國また太平洋の全域に米英艦隊の悉々たる戰果を擴張すると共に、大東亞戰爭終決の鍵は結局東亞の盟邦支那事變の處理にあるとの信念から、重慶殲滅の作戰を持續する一方、重慶に抗して反共和平建國の大旆を翳す國民政府の維持育成に協つて全力を注いだのである。即ち日華基本條約の原則たる反共の共同防衛、日本軍隊の駐屯、經濟提携、治外法權の撤廢、租界還付を次々に具體化し、支那大陸の大轉換を圖りつゝ今日に至つてゐる。この結果、國民政府の政治的、經濟的基礎は益々强固となり、搖ぎなきその國際的地位と共に、國勢は正に日々發展たるものがあるのである。

三

かくて、帝國が今日必勝不敗の態勢を持して、大東亞共榮圈の建設に邁進しつゝあるとき、日華基本條約による日華の力強き提携と、日滿華三國共同宣言による盟邦の和協が儼然として存することは、まことにこの歴史的記念の日の意義深きを痛感せざるを得ないのである。我々は今後如何なる事態に直面するとも、この日滿華友好關係の微動だにするものでないことを信じて疑はないのであるが、世界戰爭の前途は愈よ國際關係の複雑化によつて、全く豫測すべからざるものがある、大東亞戰爭またその長期化を思はれまいとすれば、いついかなる事態に直面して危殆存亡の關頭に立たざるを得ないか測り知るべきでない。

四

然し、我に滿、華の友邦あれば、そして滿にとつては日華と、華にとつては日滿の盟邦がある。我々はこの日滿華三國共同宣言の基本的精神たる『三國相互にこの本然の特質を尊重し、東亞において道義に基づく新秩序を建設するの共同理想の下に、善隣として緊密に相提携し、もつて東亞における恒久的平和の樞軸を形成し、これを核心として世界全般の平和に貢獻せん』ことを改めて強調し、敢て揺らざる相互信頼と不動の精神を以て、これが貫徹を期せんとするものである。

輝く大東亞戰爭一周年　逞しき建設譜

穫れる內地一等米

夜に日につゞく生產戰

【昭南廿八日同盟】宣戰の大詔を拜してより早くも一年、全世界の驚歎と畏怖とのうちに疾風の如くマレー、スマトラを席卷し去つた皇軍がマレー方面攻略で染めた戰ひの跡にはいま逞しい建設譜が急速調に進められてゐる、以下は輝く大東亞戰爭勃發一周年記念日を迎へるに際しての建設狀況の現地報告である

＝スマトラ篇＝

重點主義の建設

北部スマトラに皇軍が進駐して既に七ケ月、この間軍及び軍政部をはじめ民間諸團體など必死の努力と原住民の眞摯な協力のもとに、いまや南方の寶庫スマトラは面目を一新、日夜逞しい生產戰が展けられてゐる、皇軍の侵攻作戰が功を奏し、スマトラ全島はマレーにみるやうな無慘な破壞は見られなかつた、だが三月十四日皇軍が進駐したメダンの如きは市內の家屋をはじめ瓦斯、水道、電氣等は破壞からのがれたが生產部門の破壞計畫は數年前から樹てられてゐたゞけにパンカラン・スス、パンカラン・ブランダンの油槽油所、ペラワン及びデリー港の港灣施設或ひはゴム、パームオイルなどの農園の附屬處理工場は完膚なきまでに破壞し盡されてゐたのだつた、從つて建設の第一歩は重點主義をもつて產業施設の復舊に晝夜間斷なき努力が拂はれた、事實東海岸各州には別名寶庫地帶と云はれるほど大規模の農園が蝟集し、戰前蘭印政府の本國送金額の二、三割はこれらの各種で負擔してゐた譯で、ゴム、パーム・オイルなどの農園數一百五十、作付面積は實に五十萬ヘクタール、經營額は實に五十億圓といはれてゐるこの膨大な農園を接收した當時は東部の調査だけでも限られた人員では手の下しやうもない狀態であつたが、昭南ゴム組合關係者の努力により着々と經營維持されてゐる

原住民の官吏登用

本年一月南部スマトラ各州が皇軍の手により占領され、直ちに軍政が施行されるや市長、郡長、村長その他高級、下級の舊オランダ官吏は驅逐され、インドネシヤ官吏が新に任命せられ更に最近に至つてはわが司政官等の指導によつて今や南部スマトラ各州における各機關は一齊に活潑な活動を展開し、治安、教育、經濟、金融、稅務その他各部門にわたる行政は全面的に完成の域に達せんとしてゐる

殊に各州政府が一齊に原住民官吏を登用したことは、一般現地民に對しては意外な好影響を及ぼし、新政事業に對する現地民の協力は着々その效果を擧げてゐる

天惠の沃土を持つこの地方は占領以來各州政廳が先頭に立つて強力に指導して來た食糧增產運動が效を奏し特にランポン州を中心とする米の如きは、內地一等米に劣らぬ米が穫れる

治安問題を一掃

教育方面においても日本語教育の普及は早くも豫期以上の效果を擧げつゝあるほか、更に普及の方針が樹立されまたスマトラ全島を通じて戰前パダンに一校のみであつた師範學校をパレンバンにも建設して中等教育の充實を圖る一方スマトラの產業的特異性に合致する實業學校を增設するほか、女子教育改善につき當局で研究中である

治安は、オランダ統治時代の暴政に比し現在の適宜な軍政施策は原住民を喜ばせ、曾てオランダが手を燒いてゐた治安問題の如きは全く一掃された、他方各州政廳當局の財政的內容も極めて健全で、一般原住民の納稅成績もオランダ時代に比すれば遙にそれを凌駕するといふ有樣で、スマトラこそ我必勝の重要な一環を負擔すべく大東亞戰爭第二年への力强い建設の息吹きを呼吸してゐる

＝マレー篇＝

伸る東亞的道義

菜園に變る遊覽地

北部マレー最大の都市ペナンは昨年十二月十九日皇軍がこの島を無血占領して以來、戰火を蒙ることがすくなかつたゞけにその復興ぶりはマレー方面の他の諸都市に比して特に顯著で、いまや北部マレーの物資集散地として再びビルマ、スマトラ方面に對する中繼貿易港として英國統治時代の俤を全く一新し、人口は廿四萬にも達し眼前の繁榮を恢復しようとしてゐる、この外仙椒の建造コプラその他の特產品の出廻りも次第に活氣をおびてきた、文化方面では兒童に對する日本語教育に主力を注ぎ、現在島內の學校數は百餘、兒童數二萬五千を數へて、一般住民も日本に對する關心と知識慾が旺盛である、衞生施設についても占領以來軍政當局において特に努力した結果、マラリヤ、デング熱等の風土病も皆無といつてよい位で、全島檳榔樹に覆はれた風光明媚なペナンはいまや全く南方の樂園と化した

陣頭に起つ州長官

マレー半島の北端に位するケダー州は從前からも米產の多い所であつたが、昭南軍政監部の提唱した今秋の食糧增產運動においても、助川長官が陣頭に起つて全州擧げて大馬力をかけ、二年後には全マレーの米穀消費の半分は賄はうといふ意氣込みで、早くもマレーの穀倉といふ名が付けられてゐる、ケダー州では米のほか菜の生產も多く、最近上等のものができるやうになつた、ケダー州の南に隣するペラ州は人口百萬を擁へ錫の產額はマレー隨一であるが、全州至る所に錫鑛區がみられる、州內のバス網も既に戰前以上に擴張され、ゴム林を貫ぬく自動車が蜿蜒たるゴム林の中を驅けぬけてゆく有樣は壯觀である

東亞的道義の瀰漫

北部マレーの產業建設はこの樣に着々進められてゐるが、他方精神的な方面の再建も決して忘れられてはゐない、ペナン州では州政廳の青年官吏のうち最も優秀な者六十名を選拔して特殊な日本的訓練を施し、將來の州政大改革を期してをり、ペラー州でも最近久保田長官が斷然政治、嚴正司法について施設したところ、住民達は英統治下の時代は一度も責任當局者からこのやうな正しい言葉を聞いたことがなかつたと深い感銘を與へた

泥沼から生產都へ

僅か一年前內地の人々にはたゞゴム林とジャングル、虎、鰐の住む瘴癘の地としてのみ考へられていたマレーの奥地にも、いまかうした東亞的道義が廣くマレー人、華僑、印度人に教へ込まれてゐるのである

戰前ペナンやメダンを知る人はあつてもクアラ・ルンプールなどといふ都會は地名辭典でも繙かなければ滅多に出て來ない土地であつた、けれども此の町は英國統治時代マレー聯邦州の首府であつただけにアラビヤ風の宏壯な建築物が櫛比し市街の美しさは昭南やペナンに優るとも劣るまい、我が攻略部隊がこの都會を占領した時に始めて全マレー半島を制し得た喜びを齎へてもクアラ・ルンプールといふ土地の重要性がうなづかれるのである、クアラ・ルンプールとはマレー語で泥沼といふ意味だ、錫、ゴムなどの產業開發に恵まれて僅か六十年間のうちに人口約十萬から現在の廿萬にまで發展したのである

遊覽地が菜園に

中部マレーには著名な高原が二つある、一つはパハン州北部のカメロン、他はセランゴール州とパハン州との境にあるフレザーヒルだ、最近いづれも日本名に改められた前者は海拔六千尺、後者は五千尺、赤道直下とはいへここに登れば冬服が要る氣候である、兩地とも今迄は英人と富裕な華僑等の別莊地であつたが、今日では高原野菜の供給地としてその眞價を一變しつゝある、熱帶では一般に野菜の出來が惡く、喰べても決して美味くないが、この兩地で栽培した良質のものができ、トマトの如きも日本のものに比して劣らぬ立派なものができる、原住民から搾取を事とした英人榮華の遊び場所が今日マレーの大菜園として甦生しつゝあるのだから愉快である

嚴肅な建設風景

中南部マレーを旅いてみていま一つ愉快なのは交通機關の建設が驚異的速度で進捗してゐることだ、鐵道は中部マレー以南は殆ど舊態以上に復舊しかつたが、今ではそれらの應急修理は全く完成、既に恒久的修築が晝夜兼行で進められてゐる、否、單なる技術ではなくそれ以上の職場精神で始めて出來る建設精神である、『現地では資材から勞働者一人、釘一本も內地に迷惑をかけないやうにと現地調辦の方針でやつてきた、そのため最初のうちは隨分骨が折れた、しかし今ではもう內地の御世話にならないでも完全にやり遂げる見込が充分に立つた』これは占領以來現地にあつて鐵道修理に從事してゐる一邦人技師の談であるクアラ・ルンプールの工場では鐵道修理工事の美しい火花が夜空に映えて[illegible]を上らせてゐる、嚴肅なる建設風景である

強く鼓動する昭南

現在人口約八十五萬、七十五萬と稱された戰前に比して早くも一割以上も人口を增加し、東亞南方最大の基地昭南は今日まさぐるしいばかりのスピードで建設の一路を邁進してゐる

その昔ケッペル・ハーバーと呼ばれた昭南港の大埠頭に大小多數の船が出入する、內地から着いた船からは逞しい建設戰士達が南方建設の大理想に燃える眼を輝かせながら張り切つて下船して來る、內地に向ふ船には甲板の上にまで南方特產資源が堆高く積まれてゐるジャワから米を積んだ船がある、スマトラに行く船もある、タイや、ビルマ通ひの船もある、鏡のやうな海面は一年前のあの凄慘を極めた戰場をけろりと忘れてしまつたやうに全く平和そのものである、敵の手で徹底的に港の入口に沈められてゐた沈沒船も大部分わが當局の努力と現地民の協力によつて引揚げられ、港の傍に作られた造船工場から木造船建造の槌の音が逞しい建設の響を傳へてくる

昭南港は今南方共榮圈の心臟として日夜力強い鼓動を續けてゐるのである

日本色の昭南驛

昭南市の西南部にある昭南驛、ここからは一千餘キロのマレー縱貫鐵道によつてタイ國に入りバンコックに至る國際列車が出發する、プラツトホームにはすばらしい華僑、人なつこいマレー人、ターバンを卷いてのんびりしたインド人等々各種住民が人波をつくつて雜沓してゐる、列車が着くと貨車の中からタイ米、ビルマ米が降ろされ、山のやうに積まれる、タイ國もビルマもマレーも、いまは大きな東亞共榮圈のなかに強く結ばれてゐることが如實に感じられる、昭南驛の待合室には最近富士や櫻の花を書いた日本のポスターが壁一杯に張りめぐらされ、日本色を浮出してゐる

涙の蘭印引揚げ　一周年を迎く

遂に決戰の火蓋

上海であの感動！

蘭印狂亂の戰爭前夜

【東京電話】日蘭印交渉が遂に破綻し對米交渉もまた不調の一路を辿り太平洋に暗雲の漲つた昭和十六年十二月一日午前二時、蘭印在留邦人約一千三百名を乘せた最後の引揚げ船富士丸は風を孕む深夜のスラバヤ港を靜かに拔錨一路懷しの祖國に向ひ十二月七日午後八時半基隆に辿りついたのであつたが、翌朝『帝國陸海軍は八日未明西太平洋において米英軍と戰鬪狀態に入れり』との大本營發表を聽きいま更の如く祖國の力強さに感激の涙にくれたのであつた、この歴史的發表を上海飛行場で聽き感激に雙頰を染めた一人の外交官こそバタビヤ駐劄副領事として敵性首都にあること一年三ケ月、この間芳澤大使を輔けて日蘭印交渉を推進し最後の引揚げ船に乘船して太平洋を橫切り上海經由空路歸國を急いでゐた現外務省政務局第四課事務官逢見幸雄氏(三〇)であつた、あれから早くも一年は經過した、殊に同胞を脅迫した一年前の蘭印政府そして一千三百の同胞と富士丸の一室に感激したその前夜の異常な興奮を政務局の一室に追想する逢見事務官は日本に生れたりの感激を迫る開戰一周年を前に語る

蘭印在留同胞の引揚げは十六年度からはじまつて帝國資金凍結令によ る生活困難のためと蘭印蘭印官憲もはじめはこれを肯定してゐたが、國際情勢の緊迫化殊に皇軍の北部佛印進駐が行はれてからは日本との交戰をさけ離きものと感じてか、次第に露骨な敵性ぶりを發揮し邦人の旅行禁止立入り禁止地域を設置して行動を束縛する一方電信電話にも日本語の使用を禁止して通話はことごとくレコードに記錄、要するに在留邦人は監視の下に置かれ、いつた傾向になつて來た、蘭印官憲は邦人の家宅を撮影しようとしてゐた

國際事態員を拘束したのもこの頃だ、蘭印軍がどんどん入り込んで蘭印軍の指揮指導を行ひ出すと國際問題に全く無頓着だつた原住民達もさすがに戰爭近きを知つてこつそり在留邦人の家を訪れ『日本兵は何時來るか』『早くオランダ兵を降參させてくれ』といふものも出來て來た

蘭印政府は民衆に對し戰爭は必至だが、日本は軍事的にも經濟的にも貧弱だ、それに蘭印には米英の援助といふ大きな武器があるからと樂觀的な宣傳を行つてゐたが、民衆はポーランドやチエツコの例を引いて米英の援助に疑問を懷いてゐたものが多く、本國失陷で貨幣價値の暴落を知つた彼等はそれがこゝにも再現されると盛んに豪華な邸宅を競賣したり高級車の購入に先を爭つたりしはじめた、ことに蘭印の實力を知悉する中堅官吏達は政府聲明に不信を懷き政策に對しても常に批判的懷疑的に出で十一月ごろ私のところに

遊びに來て故國に迫る戰機そんなものをなぜかひしくと感じ、ひよつとしたら自分達が本國の土を踏まないうちにいやさう考へてゐる次の瞬間きりにした、比島沖では米機が頻りにも戰爭が憂慮しさうな陣形にすれ／＼の低空飛行で威嚇を行ひ制網はますます緊張した、十二月六日帝國領土の最南端鵞鑾鼻附近に風をさけんとして接近はじめて見る故國の姿、そして十二月八日上海飛行場で聽いた大本營發表私の生涯を通じてこの瞬間こそ忘れ得れない感激であつた

最後の引揚げ船富士丸は暗黑のスラバヤ港に錨を拔いた、次第に遠く島影を夜のデツキで眺みながら同胞達は等しくこの島に日本が兩手を一發見舞つたあとでなければ再びこの島は踏まぬといひ、歸國したら直ちに兵隊に志願して懲膺蘭印に報復するのだと殺氣立つてゐた、船中ではラジオニユースに全神經を集中した

され引揚者が檢査場に堆高く積まれた、雪々血と汗そして涙で築いた糧益を捨てタラツプを降る同胞の姿にはわれ／＼は人知れず涙を流した、故國に向ふもの、事情やむを得ず留まるものの間に涙の訣別風景が出現する、かくて十二月一日午前二時檣頭に日章旗をはためかせた

週間世界の動き

北阿戰線の悲劇

佛艦隊の武裝解除

獨軍ツ港占據

ツーロン佛艦隊がドイツ軍によつて武裝解除され一部自沈を遂げたことの起りはヒトラー總統のペタン主席あての書翰によると次の通りである、『ツーロンの佛艦隊の提督は十一月十一日佛艦に對して交戰するだらうと約束しながら翌十二日には英米兩國遠征部隊の上陸ある場合に應じて發砲すべからずと命令を發し誓約を破つた』即ちツーロン艦隊の指揮者の一部は恰も北阿においてダルラン提督が米英軍の上陸に協力した如く南佛に對し米英軍の上陸を援助せんと企んだのであつた、反逆命令とは北阿戰の生んだ悲劇であつたことが果然ドイツ軍の察知するところとなり廿七日佛國ドイツ軍はヒトラー總統の命によつてツーロンに進駐し艦隊の武裝解除を行つて第二のダルラン出現を防止することに成功したのである、この際一部の艦隊が自沈したことを以て米英側は『同艦隊が樞軸の手に渡ることを防止し得た』と述べてゐるが實は樞軸側こそ反逆者の手によつて同艦隊が聯合軍に寢返されることを未然に防止し得たに外ならない、ツーロン艦隊動搖が傳へられたのは既に早く北阿の新作戰開始當初からで或は『フランス艦隊がツーロンから脫出して米英艦隊に合した』と若しくは『ツーロンに對する[illegible]』と傳へられたのは既に早くから[illegible]の必死の運動が行はれてゐたことは疑ふ餘地がない、米英がツーロンの艦隊を抱き込みツーロンを第二のアルゼリヤとすることを企圖したのであつた、然るに[illegible]

北阿作戰の鍵

一方北阿においても樞軸軍は時日の推移と共に兵力の增强に成功しつゝある、北阿作戰の鍵はこのことは刻々の戰況に就いて述べるよりも次の如き聯合國側の悲觀的な論說によつて一層明白となるだらう、廿五日イーデン英外相は下院において『戰爭における聯合國は今や危機に逢着した』と述べ、また在英のロンドン放送は『チュニジヤの聯合軍は優勢に展開した樞軸の增強を行ひ得るに對して聯合軍は兵力にせよ飛行機にせよ非常に遼遠な土地から輸送しなければならないからである』と悲鳴を擧げてゐる、また聯合軍副司令マーク・クラークが『チュニジヤの制壓は相當長期を要するだらう、聯合軍の進展が遲れてゐるのは樞軸軍がこゝ數日以來空軍の大增强を行ふことに成功したからだ』と述べてゐるのも明かに樞軸側の優勢を反證するものである、北阿作戰に於る勝敗の鍵は一に補給力にかゝつてゐる、而してこの點において樞軸側が非常に有利な地位を占めてゐることは前記のロンドン放送の語る通りである、イタリー領のシチリヤ島からビゼルタ乃至チュニスには海路僅かに七時間空路で廿分乃至卅分とされてゐるのに對して聯合軍は遠く米國か或は英本國から先づカサブランカに渡りこゝから單線で遠々チュニジヤ國境まで運ばなければならぬのである、

且つ戰線に向かれてゐる、時日の經過が補給力の大きい樞軸軍をますます有利ならしめるだらうことは言ふまでもない、リビヤにおける戰線についても同樣で英第八軍は戰地から一千キロ以上も補給路に延び切つてゐるによつて補給困難の狀態に陷りつゝある、これに反してロンメル軍は後退すればする程補給路を短縮し、實際的に戰鬪力を增大しつゝあるのである、北阿作戰について最近のロンドンタイムス及びフィナンシャルニュースがその『戰術的勝利』を強調してゐることは注目すべきであらう

米英策動暴露

地中海航路は現在ドイツ、イタリー潛水艦によつて殆ど致命的に近い狀態に陥かれてゐる、

即ち米英な北阿戰線によつて第二戰線的效果を狙ふと同時に北阿資源の獲得をも狙つてゐることがこれによつて暴露されたからだ、同紙は『資源はアルゼリヤにおいて年產三百萬トン、チュニジヤにおいて九十五萬トン、佛領モロツコにおいて卅萬トンを產し燐礦はモロツコに百五十萬トン、アルゼリヤにおいて七十萬トン、その付右三佛領には

コバルト、ニツケル、モリブデンも產出する』と述べた上で『これらは何れも英國金屬工業の新補給地となるだらう』との趣旨を滿悦の態で書き立てゝゐるのである、上陸當初行つた『樞軸軍の侵略を防止する以外に他意ない』と言ふ聲明の舌の根も乾かぬうちに彼等は早くも假面を脫いで帝國主義的侵略の意圖を暴露しつゝあるのだ、このことに關聯して注目を惹くのは廿二日の英內閣改造と廿六日の印度彈壓の強化令である、內閣改造によつて印度に對する進步主義的政策の支持者であつたクリツプスが左遷され四日後には續いて印度の彈壓が強化されたことは一連の脈絡ある事柄とみなければならぬ

即ちチャーチル首相は獄深主義的なクリツプスを徹用することによつて印度懷柔につとめて來たのであるが、最早クリツプス的な同情政策も役に立たぬと見て斷然この假面をかなぐり捨て、本來の帝國主義政策に立ち戻つたのである、

廿二日英內閣改造の直後ドイツ紙が『クリツプスを追出した首相が印度政策その他植民地政策に就て英國政府はいよ／＼帝國主義を强行する方針と見られる』との見通しを述べてゐるが、この見透しは全く正しかつた

來栖大使演說

來栖大使が日米交涉の事實の決裂を見た一年後の廿六日を期して我が沈默を破り米國の戰爭責任を强調したことは洵に意義深いことといはねばならぬ、米國側は頻りに眞珠灣における日本の『トレチヤーラス・アタツク』(だまし討ち)を宣傳し開戰の責任を日本に押しつけようと努力してゐるのであるが米國政府自身の手で行はれた公式調査報告『ロバーツ調査委員會の報告書』は實に開戰の責任が彼等にあることを不用意に暴露してゐるものである、ロバーツ報告書によつて開戰に先だつ二週間前の廿六日ハル長官は米陸海軍首腦に對して『日米交涉が終熄した』と告げ陸海軍首腦はその報告に基いてハワイに對し開戰準備の指令を發してゐるのだ、ロバーツ報告に記述されてゐるところの諸々の米側軍事措置を採用するまでもなく敵にこの事實のみを以てしても、アメリカ側の開戰責任は疑ふ餘地がない

更にこの事實を以てすれば我海軍の眞珠灣攻擊は(だまし討ち)どころか(奇襲)であつたとさへ言ひ得ないのである、來栖大使は廿六日の演說において更に米國の戰爭目的に言及してそれが結局我國に對する武裝解除、米英の武力的支配にあるとを指摘し『石に齧りついても勝拔かねばならぬ』と强調してゐるが敵のかかる奴隸的要求に想を致し戰爭完遂の決意を新たにするとこそ開戰一周年記念日の意義が存するのである

日曜氣配　株式Ⅱ週

において大藏當局が增資調整制限乃至は增資にからむ減配による投機思惑を抑制すべき旨の意思表示をなしたとは旺盛を極めた增資買ひ人氣に非常な衝動を惹起した氣先、今週に入つて又復戰時金融金庫をもつて株式市場の操作をはかるべき法律案要綱の發表および政府の餘剰資金吸收を起こす政府の意向等は再び步調に歸した株價買ひに再び拍車を加味され結局取引所株の好調を隨一の强材料としてなつたゞけに少なからぬ影響を與へ過去運賃的に買ひにあげられた時局株を中心に本格的な玉整理過程に突入し特に日本砂鐵、三菱重工、神戶製鋼等は十四乃至二十円安と反動安を演じ特に注目すべきは東新が調戰直前の安値百九円三十錢から若干下廻つたのは意味深長であり後突込み買物時期と買方の利喰ひに稍引返した氣味となつたがこれに底を離いたか否かは未だ疑問とされてゐた、一方雜株(愛國子算)の資本整理の完了如何は政府の投機の集中化に伴ふ聯關な投機分子を一掃する運命をとつてゐる爲に未知數な增資を觸して過度に買ひ上げられたものが氣持的に見て相當なりといひ得る價格に還元した時は整理完了期とされよう、では今後の見透しについては何うであらうか現今の取引所機能は開戰以來全面的に一變し刻下不可缺なる使命の資金ルートの一翼として第一步を踏み出してゐるのであり、今後とも征戰目的完遂のために時局產業株は益々膨脹を招るべき必然性があり拂込みにつく增資は必至の狀態にある、從つて增資買人氣は再び表現さるべきは當然であらうと見なければならないがその場合今迄の漫然たる增資買ひは自制さるべき性質のものであり現實に立脚したところの增資買ひが展開する會の增資異變によつてその採算調整は相當うねわに見積つて今後の投資に處すべきが肝要であらう

隨想錄

年末年始にかけての内地行旅行を遠慮へるやうに強力組閣で呼びかけてゐる▲交通機關の逼迫は周知の事實であるからまさか年末年始に不急の旅行を企てる物好きもあるまい▲郷里への歸省とか兩親その他故舊に會ひに行くことも見樣によつては不急不要とされぬではない▲然し又他の一面から見れば一年に一度くらゐ故鄕を訪れて同胞知友に寒暄を敍するといふことは人情として咎むべきことではない▲勿もすれば殺風景になり勝ちの外地にある者には事情が許すなら進んでもさういふ機會を與へる樣にしたいものだ▲けれども今日の狀態はそれすら自粛しなければならぬ戰時下である、皇國の興廢を賭して戰つてゐる最も嚴粛なる時期である▲交通機關の円滑なる運行の出來ると否とは直ちに戰爭に影響し又銃後生活に重大關係を持つ▲特にこれに混雜の度を加へさせることは何としても慎まねばならない、これが日本人の務めである▲交通機關の混雜について何時も考へさせられるのは交通道德觀念昂揚の必要である、無智にして他人に迷惑をかけてゐるのならまだしも▲相當教養のありさうな人達が自分さへ固定すれば他人はどうでも構はぬといふ態度をとつてゐる場面を屢々見受ける、お互に注意しようではないか

體位向上　元氣で長壽　强力な總栄剤

ますらを

胃腸を丈夫に　健康の增進

三百錠一、八〇　千錠五、四〇

發賣元　株式會社 中西藥商店　東京市京橋區　大阪市東區道修町三　神戶市南仲町

頑症の　**痔と化膿症に**

頑症の痔・化膿症…[illegible]

カミツクス

まんで効く　五府出虫くだし

サ　奥州齋藤　名產東京　**孫太郎蟲**

◎御注意◎　最近種々の類似品並に特種品が續出し多數問合せに接して居りますから御買求めの節は必ず **ヌ** 東京孫太郎蟲と御指定の御買求め下さい

配給所　特約店　設置（企業許可令の適用はなし）

定價　…

全國百貨店・藥店・特約店に有り（文獻進呈）

サ 東京孫太郎蟲總本舖

ヌ 久保商事藥品部

ビタミン　**VB₂**　複合體

濃厚VB₁B₆を併有…

消化・吸收共に頗る良好にして、衰弱せる胃腸にも何等の負擔を與へず

適應症―食慾不振・胃酸過多症　慢性大腸炎・結核・虛弱體質

理研ビタス錠

咳止めに

氣管支カタール　流行性感冒　百日咳・喘息等

フスパン　シロップ

總力戰實踐號　**現代**　十二月號

十二月八日への回歸　大本營陸軍報道部長　谷萩大佐　／　大政翼賛會實踐局長　相川勝六　／　文部省督學官　前田隆一

戰爭哲學　飯倉亀太郎

▲神武の道…佐藤堅司　▲大東亞の法秩序…前原光雄　▲日本農業の再編成…櫻井武雄　▲大東亞と印度文化…濱田本悠　▲たしなみの自覺…大西昇　▲大久保利通…田中惣五郎

▲讀賣國學者　戰争歌一百首　竹越與三郎　前川佐美雄

座談會　**生產・勞務・賃金の問題**

少年工の問題　鈴木舜一

死鬪激鬪　輸送船　安東船長

▲北支最前線を征く…　▲竹と人生…竹內叔雄　▲詩…野口米次郎

創作　**朔風**（百三十枚）　牧野吉晴

定價八十錢・大日本雄辯會講談社

商業登記公告

[illegible]

第二十回決算公告（昭和十七年九月三十日現在）

朝日釀造株式會社

[illegible]

第六期決算公告（昭和十七年九月三十日現在）

株式會社　清津新井藥房

[illegible]

第二回營業報告

[illegible]

第十五回營業報告

株式會社　新井藥房

[illegible]

海鷲・死の漂流突破記

戰友の屍を涙の埋葬
島から島へ二旬有餘
魔魚の棲む海を泳ぐ

【〇〇基地にて藤田、飯島兩海軍報道班員發】世界を震駭させた南太平洋海戰の際〇月廿日未明わが飛行隊はソロモン諸島上空の積亂雲を衝いて東へ東へ索敵飛行を續けてゐた、折しも前方にビー一七を發見直ちに戰鬪配備につくとともに『われ敵と交戰中』の無電を最後に行方不明となつてしまつたが、それから廿二日目の〇月十日わが驅逐艦はソロモン海で襤褸々々の飛行服を纏つた男十人達のカヌーを救助した、この男達は敵機發見の日敵機ビー一七と壯烈な空中戰を交へ、わが海の荒鷲の攻撃によつて四發動機のうち二發を傷つけた、敵機は白煙を吐きながら雲間に姿を消して行つた、だがわが方も敵彈で不時着水のやむなきに至つた、着水とゝもに廿名な艇内で壯烈な戰死を遂げ無人島に泳ぎついた〇名の搭乗員のうち重傷の〇名も護國の鬼と化した、生き殘りの〇男士はこの時から椰子の實とシャコ貝を喰ひ雨水を飲みながら『ロビンソン漂流記』さながらの生活に移つた、ある時は原住民に脅かされある時は潮流にさらはれながら一ケ月餘りにわが驅逐艦に救出されたのである、以下はその搭乗員〇〇上飛曹が涙とともにものしてくれた漂流日記である

〇月二十日　絶好の索敵日和に胸は鳴る、見下せばソロモン諸島は夢のやうに靜かだ、六時四十五分『索敵中』の電報あり、直ちに銃座につく、と次の瞬間、我機から數條の火箭が飛んだ、前方銃座では〇〇二整曹が右腕を銃彈で貫かれ血にまみれつゝ任務についてゐる、間もなくエンジン不調となり高度に降下し始めた、大きなショックと同時に着水した、まだ最後の彈が殘つてゐる、この時とばかり射ちまくると黑い腹に白い星のマークをつけた敵機は三條の白煙を見せつゝ高度を下して行つた『やつたぞ』と叫んであたりを見渡せば〇機長が左頭に重傷の〇〇二整曹と〇〇二飛曹を引張つて泳いでゐる、機長は支那事變の殊勲を飾つた渡洋爆撃の一番機に搭乗した古強者、〇〇上飛の姿が見えない、機内に引きかへして見ると既に機は火焔に包まれてゐたので、遺品を切つて海中に飛び込んだ、醜顔があちこちに小波を立てゝ泳いでゐる、傷づいた戰友を勵ましつゝ二時間後無人島へ着いた、乘員が水際に着きたつたのは半日ひだつた、〇〇上飛が元氣ならと思つた、しかし君は護國の神としてわれわれを見守つてくれ、無事に基地へ還つたら必ず君の分まで御奉公して仇をとる、御兩親にも勇しい働きを傳へるぞ、安らかに眠れ

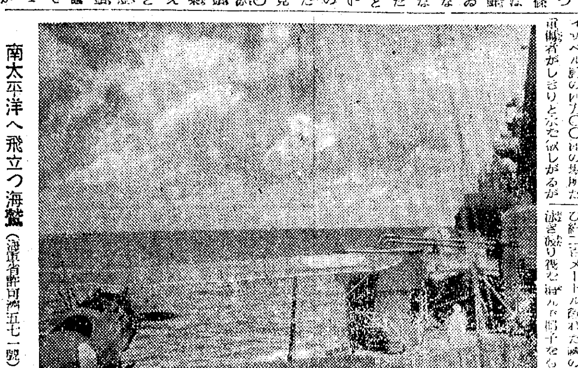
島の周圍は約五、六十メートルの珊瑚礁が突き立つて飛行服をぬいで足場にしながら島に辿りついた、イサベル島の四方〇〇浬の場所だ、重傷者がしきりと水を欲しがるがなにもない、機長と〇〇二整曹の容態は惡化、呼んでも返事がなかつた、間もなく『天皇陛下萬歳、〇〇下宿に宜しく、お父さん、お母さん』とはつきり最後の言葉を殘して笑顔で死んで行つた、供する水も飲まさず男泣きに泣いた、暮れの飛行服を着せてやる、百メートル四方位の小島には椰子が廿四本しかない、海岸から石を運び集めて約二百メートル離れた隣の島に泳ぎ渡り椰子をもつ、早速〇〇二飛曹に飲ませる、大火傷の〇〇二飛曹は元氣だ、一休みして椰子の葉で屋根を作り木切を置いた宿所を作つた、交代で看病したが飢と寒さで一睡も出來ず眠を合つて暖を取つた

〇月二十一日　椰子の實やら食料探しに出る、全員漸く元氣だ、シヤコの肉と蓄へた水と椰子で朝食、〇〇二整曹を埋葬した、懐しい爆音あり、手を振つたが、味方機の旋回は見えず、發見されず失望の色が浮ぶ、椰子を食ひ盡して三百メートル四方位の隣の島に移る、椰子の相に蟹が多い、夕方友軍機が通つたが駄目だつた、いやな夜が近づいた、豫想通り雨だ、渇を舐ふ雨だけで皆黙つてゐる、負傷者の力のない呻吟が痛く、我慢してくれ、ここで死なせたくない

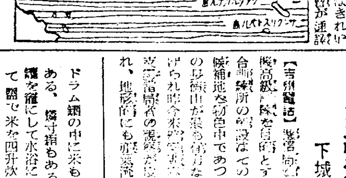
〇月二十二日　皮肉なほど快晴、飛行服の手足に木を通した擔架を作つて負傷者を運んだ、軍歌を合唱すると負傷者も歌ひ出した、命旦夕に迫るを知つて諦めてゐるのだ、十分看護出來ないのに満足してくれる負傷者の氣持がいぢらしく泣けた、食料を探しに行つた連中が『水があるぞ！』と歸つて來た、私は夢中でその方へ歩いた、周圍五十メートル、鰐でも出さうな古い水溜りだ、木葉で掬つたが濁水で虫がゐる、虫をよけながら飲んだ、實に美味い、〇〇上整曹がシヤコ貝をとつて來た、海水で洗つて喰つたが、榮養分が多く肉がふえるやうだ

夜半雨、私は元氣づけるため歌ひ出した、負傷者も合唱した、だが何度目かの合唱には〇〇二飛曹は聲を出さなかつた、私はその耳元で名を呼んだ、聲を限りに！返事がない『駄目だ！』私は合掌した、歌ひながら靜かに死んで行つた

〇月二十三日　未明〇〇二飛曹を埋葬する、上陸してから二名の戰友を失つた、われわれは生きぬかねばならぬ、戰友の屍を越えて蹶起した、椰子の葉で筏を作り飛行服、防暑服を積んで出發した、靜かな朝の海は冷え切つた身に快適だ、正午ごろ島に着く、島の中央に島民の小屋がある、人影はない、人の住むところに來た喜びと不安が交錯する、やがて三人の土人がカヌーで海岸に近づいた、土人だ、毛深く髭だけはきれいに剃つてゐる、〇〇上飛曹が通譯係となつて英語で話しても笑つてばかりゐてわからぬらしい



南太平洋へ飛立つ海鷲（海軍省許可濟五七一號）



手振りで寢床と食物を所望するとカヌーで西へ漕ぎ始めた、その中で黑人は手を差したのとバナナをくれた、その美味しいこと、二時間で島に着いた、ワギナ島東端である、小高い所に英人のコプラ監理人が居たらしい家があつた、ボタンクもある、ドラム罐の中に米も二斗ばかりある、燐寸箱もある、ドラム罐を竃にして水浴に使つたりして罐で米を四升炊いて握飯にして喰つた、雨もらず天國のやうな夜が來た、靈前に供へた握飯を見て涙が出た

〇月二十四日　よく眠つた、私はベツトの傍で草鞋を作つた、友軍機は飛んだが發見されない、蚊が多いので、惡水をかぶつて眠た

〇月二十五日　朝食は濁水を入れすぎてなかく煮えなかつた、米を分散し、水をビール罎に入れ空米袋の紐をないて杖をつき乞食の服裝の恰好で出發した、枕で鰐を追ひつゝ小島まで泳ぎ、しとなつて歩いた、人跡未踏のためか魚が飛びついて來て氣味が惡い、大きい入江のほとりに例の如く椰子の寢床を作る、近くの大木に一メートル位の蜥蜴が私達を見てゐる『あれを喰へないかな』と誰かがいふ、雨が降らないのはよかつたがぶよにやられて眠れなかつた

〇月二十六日　戰友の靈を拜む、はるかに西北方に向つて涙がとめどもなく出る、感謝御奉公を誓ひ、食糧を積んだ筏に乘り出發したが、一時間毎に筏を繕はねばならなかつた、鰐をさけながら一時間漕いで美しい礁湖に着いた、二尺位のシャコ貝が口を開けてゐたがあやまつて足を入れたら最後だ、鱶と戰けつこしながら西へ泳ぐと遙にチョイセウル島が見えた、西南方に民家らしいのが十數軒見えたが潮流と共に姿を消した、然しこんな失望にも馴れた、すぐ前にそれが見えた、泳ぎ切ることに決し私は幾時間か泳いだ時潮巻の中にゐた、先に上陸した〇名が勵ましてくれる、ジヤケツも捨てゝ無我夢中だ、〇〇飛行兵長が手を伸ばしてくれて死に一生を得た、疲れた樣になる赤い鳥が梢で囀つてゐる、ゴーゴーといふ潮流が耳について眠れない

〇月二十七日　あくまで生還を祈願する、珍らしく故國や雛や戰友を想ひ浮べた、潮流も今朝は平和だ、又泳いで相當大きい島に着いた、島の中央にきれいな家を發見した、島民の住家へ入り、原住民と波止場もある、砂糖黍も

〇月二十八日　波止場に勝が同姿あつた、コプラ採取の頑丈なものだ、櫂と鍋を用意した、椰子の實と豆で二、三日分の食糧はある、シヤコ貝にレモンを絞りかけ醬油やつくり鍋を煮て夜食は豪華メニュー、外は明月

〇月二十九日　食糧を滿載しボートは靜かな海を西へ、島の全部が大森のジャングル、ここに制限が通り醉から見たならなどと考へた、ボートの長さほどの鱶が待つて來る、太陽が落ちるころ泊地を見つけた、二寸大ほどの蛩がゐる、四、五匹群れてゐるところは潰と間違ふ、名も知らぬ鳥が多く夜になると私達の頭をつついて困つた、チョイセウル島の第一夜だ

〇月三十日　昨日から頭を嘔過ぎて腹不調、身間を利し出發、岬の陰に原住民部落を發見した、初めての部落で不安だつた、落には子供と犬が遊んでゐる、きれいな部落である、部落らしいものもあり住民は野蠻人でないとがわかつた、夜に入ると六、七人の島民が出て來てワロンガ部落とわかつた、彼等は『日本がこゝを占領したからお互に兄弟です』といふやうなことをいつてゐた、さうして芋と魚の饗應をくれた、實にうまい

〇月三日　野宿ならひ酋長に送られて出發、コロエー部落につく、民家二軒、各地から逃げて來た島民百人餘り、われくも黑人觀衆倶樂部に同宿した

〇月四日　シャバカラ部落について見ると、佐家二軒、開戰して植ゑたらしい芋畑で一畝以上も喰つてしまつた

〇月五日　ペデレイマン部落に到る、卅トン位の帆船のあるところで上陸して酋長に會ふと、コプラ、胡椒、椰子合成の餌を出してくれた、豚の丸揚げも御馳走しかつた、部落民に日本の意圖を說明すると酋長は『若し『□器』があれば何時でも日本に應援して米英を撃ちたいと思ひます』

〇月六日　この日についた、ママナラ部落はきたない、米と、コプラを頼り合はせたパンの味は忘れられない

〇月七日　終日雨いで徐々のチョイセウル嶼に入りホローボロー部落民と折衝して支那人の家に願る、よくも之まで來たと慰ふ

〇月八、九日　八日は部落民との折衝で費し、シヤコ貝などをとつて一日を移る、九日は部落民に基地へカヌーで送るやうたのんだがはつきりしない

〇月十日　部落民十三人がカヌーで送ることゝなつた、そして〇時間後わが驅逐艦に救助さる天佑なり、艦に引上げられた時の心境は筆舌に盡されない、亡き戰友の靈位とともに遙かに宮城を拜すれば涙々、報恩奉公の決意いよく燃し、生還したのだ、あのソロモン海に無敵艦隊の大勝利、地下の戰友よ喜べ、きつと仇をとるぞと強く強く誓つて日記を結ぶ

あれから一年、上海の晴れ姿
テロもあとを絶ち
"マレー戰記"に絶讚
自ら護る保甲の足並

【上海廿九日同盟】昭和十六年十二月八日、この日こそわれく日本人が終生忘れ得ぬ日となつた、支那事變勃發以來、或は古く滿洲事變勃發以來米英を初め敵性各國が重慶政權援助のため種々陰謀を逞しうした街也もわが占領地區内に取殘された孤島『上海共同租界』もこの日我が陸海の精鋭が長年の隱忍を破り敢然蹶起した瞬間、脆くも敵性は完全に掃拭された、それから早くも一年、現でこの一年間に、敵性の巣窟上海に如何なる大きな轉換があつたか、今ここに檢討を加へて見よう

一年前の十二月八日未明、上海港内の英砲艦一隻を瞬時にして撃沈、米砲艦一隻を拿捕したのを皮切りに我軍の行動は疾風の如く開始せられたのである、中支軍及び支那方面艦隊報道部が八日午前十一時『蘇州河以南共同租界に各々その一部を進駐せり』との共同發表をなした通り雨雲低く垂れたこの日、上海在住十萬同胞の讃の歡呼の裡に陸軍部隊は滬西方面より、海軍部隊は虹口側から威風堂々敵性租界に進駐をなし、完全にこれを屈伏せしめたのである

敵性の元締工部局

當時果して如何なる敵性が共同租界に潜伏してゐたかを洗つて見れば、先づ租界の元締工部局がある、工部局の敵性は永年に根り鏤み抵せる敵性を發揮し、從來皇軍の租界進駐以外にこの敵性を驅逐すべき手段はないといはれてゐた、共同租界市參事會議長英人リデルは八日皇軍の租界進駐後、我が總領事と會見、同日午後四時半緊急市參事會を招集、日本總領事との會見報告を行ひ

日本當局の意向は從來の共同租界行政に變化を與へようとするものではなく、市參事會も從來通り活動を續ける事になつて居り、住民は何等の不安なく生活する事が出來る、日本當局は市參事會の誠意ある協力を要望してゐるのであるから吾々としてもこれに欣然應じたいと決意を披瀝し、續いてアメリカ側市參事會員マクマレンも立ちリデルと同樣の意味の辭を述べ、全員異議なくリデル市參事會議長を支持し一同日本側の要望に欣然協力する事を誓つた

その後一月に入つて議長リデルを初め敵性國人市參事會員は全部辭任、面目を一新した共同租界參事會は一月七日の議長選擧で岡崎勝男氏を議長に選任、副議長には長年市參事會員を勤め工部局行政に明るい中國側の袁履登氏が推された、斯くて大東亞戰爭勃發後僅かに一ケ月にして共同租界工部局はその敵性的性格を清算し臨時市參事會の行政の再編、更生を目指して前進したのである

保甲制度の確立

新生工部局がわが方に示した協力は多々あるが、中でも保甲制度の確立は治安の維持に、食糧の配給に、抗日テロの防止に既にその試驗期を脱し着々戰果をあげつゝある、組織にその組織を說明すれば先づ共同租界を中央、老閘、成都、新閘、靜安、戈登、普陀の七區に分け各區に聯保保甲一つ宛をおいた、聯保の數は總計三十二、保の數は三百九十七、甲は四千八百七十八、戶は四萬八千四十一、自警團員の總數は實に十八萬三千八百四十七人に達してゐる、この自警團員が晝夜を分たず魔都上海と言はれた前夜中の街の辻に自警棒を片手に勤務してゐる姿は大東亞戰爭前の上海では絕對に見られなかつた風景である

敵性文化の潰滅

一方わが陸海の精鋭は蘇州河以南の共同租界（競馬場以西）を陸軍、虹口地區（競馬場以東バンド迄）を海軍と夫々警備區域を分つて租界の治安維持、民生の安定をはかるためまづ租界における公共機關たる電力、ガス、電信電話、新聞社、敵性放送局などを確保しかつ英米系銀行、商社を初め香港上海銀行を始めナショナル・シティ、チェース、チャータードの外銀行、サッスーン・ハウス、アジヤ石油などを押へ租界治安攪亂の策動者に民心の動搖を封じた手際は實に見事なものである、上海の名物とまで謳はれた『テロ』も陸海軍憲兵隊、工部局の活躍によつて遂に五月以降跡を斷ち、九月に入つて又數件のテロ發生を見たが、その後又現在迄一件も事件の發生を見ない、抗日テロの撲滅は絕對不可能視されてゐたが暗黑街上海も皇軍堂々の租界進駐以來の絕えざる努力により遂に神を離れ彼等の蠢動は微塵も許されないことゝなつた

更生租界の空氣

大東亞戰爭勃發後一年、敵性と抗日の溫床上海の街頭を瞥見すれば先づ北四川路―虹口日本人街の心臓部―から南京路に至る、この電車も支那事變勃發と同時に虹口側の運行を中止してゐたものであるが、大東亞戰爭と同時に運轉を開始しガーデン・ブリッヂを渡つて租界に乘り込んだものである、ガーデン・ブリッヂを渡つてバンドに入ればこのバンドに立ちならんだビル街の壁上には日章旗が翻しく飜つてゐる、南京路附近を一瞥すれば胸に赤い腕章をつけてゐる外國人が特に目につく、これは上海陸海軍最高司令部の布告によつて十一月一日より實施された敵國人が付けてゐる赤腕章である、國に篤馬場前グランド・シアターの前に至ると物凄い見物客が道路に溢れてゐる、見れば『マレー戰記』の看板が大きくかゝつてゐる、グランド・シアターといへば上海の一流の映畫館である、こゝで日本映畫が上映され、然もこの人氣を呼ぶとは誰しも豫期し得なかつた、大東亞戰爭後日本映畫の租界進出は大成功裡に着々進められ先づ第一回が『米英擊滅』次が松竹の『暖流』で人氣を博し、最近では『南海の制空』と次々に日本映畫が租界に進出し今又『マレー戰記』で戰日大勝負の盛況である

日本は強い、日本は斯くも大きい戰果を擧げた、果してこの力は日本の何處にひそんでゐたものか、中國人の凡てが知りたがつてゐるのである、日本映畫の中から少しでもくみ取らうとする姿に外ならぬ、電車はグランドの前を通り過ぎ靜安寺路に通りかゝる、中國人外國人が男も女も自轉車に乘つて走り廻つてゐる、これ等は戰前依然と自家用自動車を走らせてゐた連中である、こゝにも戰爭の影が深くしみ込んでゐる、又愛多亞路附近の英米人商店の店頭には大東亞戰爭の種々の懸賞的誘因を飾りつけ、華人がこれに見入つてゐるのである、又店前のスピーカーからは皇軍の赫々たる戰果を通行く人の耳に投げ込んでゐる、電車に乘つて氣がついて見ると乘客は同胞乘客と日本語で應酬してゐるではないか、今上海には十數の日本語學校がある、日本語が喋れなければ商賣も何も出來ない現在だ、英語か支那語か外國語と喋かれなかつた『洞窟』に日本語が浸透してゐるのだ

【寫眞＝上海の租界風景映畫"マレー戰記"に殺到の民衆】

來るぞ、蔬菜の援軍
お台所の歎き解消へ

蔬菜が手に入らない、季節物の大根、白菜でさへ滅多に手に入らなくなつた、たまに市場の野菜店に品物が入つても行列買ひするまでもなく瞬時にして飛ぶやうに賣り盡される、端境時期ではあり、漬物の賞味される昨今野菜の不足はそもどうしたことに原因するか、これを京畿道農務課に聞いてみると

先づ第一が何つて言つても旱害による減收が響いてをり、四割乃至五割の減收となつてゐること、つぎが來月から値上りを見越して生産者が品物を出し惜んでゐること、また京城近郊は別として地方から京城内へ持ち込む業者にとつては運賃、市場の手數料などの負擔が多過ぎるとや米の不足に伴つて生産者自身が代用食として相當多量に蔬菜を貯藏し自給自足を圖つてゐる傾向もみられるが、これは考へ方によつては却つて今後蔬菜類の缺乏を來たす季節への準備貯藏として無視出來ないこともないが消費者の中にはいつ直接生産地から大量に蔬菜の買占めを行つてゐる向きもあるとザツト蔬菜不足の原因だけは以上の如く山ほどあつてこれだければ驅ろ出ないのが當然ではあるが出ないでは濟まされぬ問題だけに當局としても最も手つ取り早い方法として他道から不足分を取寄せることに決定、目下職員が全南、慶北、忠北の三道に飛んで買付に奔走これに努めてゐる、この結果現在全南からは大根が卅萬貫近日中に入荷する豫定で第一陣は廿七日京城中央卸市場に到着をみた、更にこのほか黄海道から大根、白菜合せて百萬貫、忠北道から同様十一萬貫が入荷する筈であるがこの應急策と來月からの公價改正によつて當局では野菜不足も何とか解消出來ようと樂觀してゐる

【寫眞＝市場に入荷した蔬菜類】

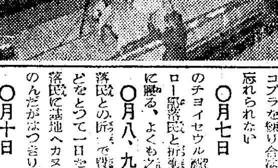
高級滑空の綜合訓練所
下城課長も太鼓判、吉州に決定か

【吉州電話】遞信局航空課の滑空機高級滑空を目的とする綜合訓練所の開設はその候補地を物色中であつたが、吉州郡の長德山が最も有力な候補地にあげられ、遞信當局者の視察が屢々行はれて行はれ、地形的にも理想的の個所から申し分のない場所として適地とされて來たが、二十八日下城航空課長が現地視察のため來吉、實地調査を行つた結果、最早決定的と見られ、來春は着工の運びに至る模樣である、下城課長は語る

滑空機訓練所は低級のものは鮮内に二三ケ所あるが、高級訓練を施す所は今回が初めてです、大東亞戰下に航空技術の向上を圖ることは刻下の急務であり、優秀高度の訓練を施す訓練所を創設すべく本年度豫算に計上しその候補地を物色してゐましたが、吉州が好適地だとのお話しを聞き三回程技術者を派遣して調査に當らせましたが、何れも最適地なりとの報告に接しましたので、實見に參つたわけです、今此處で決定したとは申しかねますが、好適地であることは間違ひがありません

本町五丁目集會所竣工式

京城本町五丁目町會事務所、集會所竣工式は廿九日午後一時から同所で府尹、倉田府議、御田京城… 關係者など約三百名參集して擧行、國民儀禮についで松下總代挨拶、經過報告、古市府尹、澤田京畿部長、勝田總代の祝辭、感謝狀贈呈の後國民歌謠劇に賑ひ同四時終了した【寫眞＝本町五丁目町會事務所の竣工式】



旭町の火事

廿九日午前七時九分ごろ京城旭町二ノ三九料理屋京喜久事高橋太方料理場から出火、忽ち同家二階建木造家屋五百坪を全焼し更に隣家料亭きく鷹方に類火し同様二階建木造家屋百坪を全焼、ほか半焼二戶を出して同八時卅五分鎭火した損害約卅五萬圓、原因取調べ中なほ同火災に際しては消防團員中に若干の負傷者を生じた

清酒 朝の花 ナハノサア 工場 群山 論山 北京

メガネは村木

マニラ紀行 南の眞珠 木村毅 一・八〇 〒一五
長篇小説 最後の人 乃木 木村毅 一・八〇 〒一五
明朗短篇 中學生 … 一・八〇 〒一五
芦原英治 春の記録 一・八〇 〒一五
世紀の窓 飯島幡司 一・八〇 〒一五
全國書房

農林省編輯 農林時報
週刊産業社
皇國農民精神 … 食糧管理法解說

解散公告

砂鐵のドリル
威權最高の界斯期品
日本砂鐵鋼業株式會社
代理店 松坂商店

毛深

別府 山 府 鶴見台 住宅地分讓
中央拓殖株式會社・別府支店

謝近火御見舞 京城府旭町二ノ六一 吹良喜
謝近火御見舞 京城府旭町二丁目七二 幾羅具
謝近火御見舞 昭和十七年十一月二十九日 京城府旭町二ノ二十一 泉川壽之助 岡治定治郎 篠原志郎 松山芳枝 小村家
謝近火御見舞 京城府旭町二ノ六九 喜久井茶寮

ニキビが取れて色白くなる
色黑、ニキビやニキビ跡の男女、お困りの方は…研究所へニキビ説明書…ヒミツに送つてくれます。

安心して買はれる 安心して使へる 特許品 日満專賣特許 たくあんの素 澤庵源

內地行工員募集
京城職業紹介所

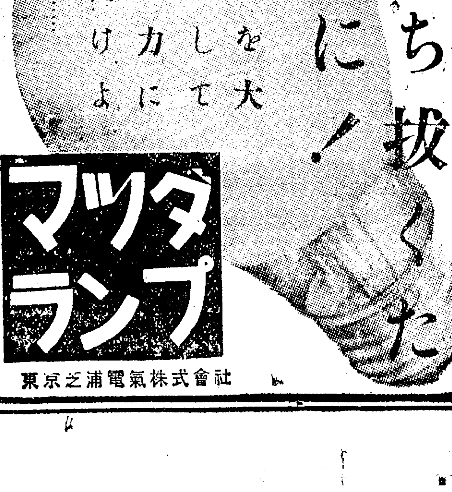
製鐵職工募集
株式會社昭和製鋼所

名義書換停止公告
朝鮮製綿株式會社

謝近火御見舞 京城府旭町二丁目二七番地 五味安太郎
謝近火御見舞 松原純一 櫻澤秀次郎 服部岱三
謝近火御見舞 岸の家
謝出火御見舞 昨二十九日朝拙家出火の際は時節柄各方面…御見舞被下…昭和十七年十一月三十日 京城府旭町二ノ三九 京喜久

勝ち拔くために！
電力を大切にして生産力に振向けよう
マツダランプ
東京芝浦電氣株式會社

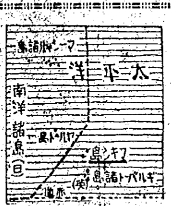
賣藥部外品
榮養クリームを！
肌アレ豫防に！
ドイツ特許の皮膚榮養藥ラセラン乳化液を巧みに應用してありますから獨特の美肌効果で生肌からピチく彈力づいてきます
マスター バニシング クリーム



大洋の最前線マキン島

哀れ米軍潰滅の跡

皇軍を慕ふ住民達



【マキン島にて飯田、飯島両海軍報道班員發】帝國海軍のギルバート諸島上陸はわが太平洋『南東の防衛』に千鈞の重みを加へ米豪を結ぶ線上に楔を打ち込んだ大戦果となつた、その最北端マキン島を去る八月中旬小癪にも襲撃を試みた米兵が無惨にも潰滅した所轄である、記者らは島民の態度も生々しいこの島を踏査すべく空から現地へ向つた、飛行機上から俯瞰すれば椰子、タコの木、テバパイパンの木などの密林に蔽はれた緑の島と岩礁に輝く海原を一條の白金を敷きつめたやうな砂浜がくつきりと區切つてゐる、この島は南洋群島のどの島より大きく東西に細長い珊瑚礁である、北側の内海は透き徹る天然の良港で島の中央には白、赤の建物が濃い緑の密林の中に點綴して美しい、北岸沿ひに島を東西に貫く道路が真直に走つてゐる

上陸して現場を訪れたわれわれは島の全貌を知るべく在島十七年間といふ南洋貿易マキン支店長神崎長治郎氏(三九)=鹿兒島市出身=をその事務所に訪ねた、氏は大正四年八月十三名の邦人とともに長明丸といふ帆船でマキン島に渡着南洋貿易支店の新設に努力した人その神崎氏は

あの日午後四時半の海外ニュースで大東亜戦争の發生を知つた時、愈よくるべき時がきたと思ひました、當時ここには地方行政官兼務のプールホルド・ウイリヤムといふ英人が一人ゐて開戦の翌朝私を敵國に連行し『戦利品のお前を虐待はしない日本軍は上陸せぬと思ふがもししたら俺が出る』と沈痛な面持でした、船便があれば私をニュージーランドへ移す積りだつたらしいがその後間もなく十日未明皇軍が上陸してしまつたその時はビカーチといふ離れ島にニュージーランドへ通信する通信員一名、兵隊二名がゐたほかに八十名の島民義勇兵もゐたが、十日午前二時ごろ日本の艦艇を發見した島民がどしや降りの雨の中を島の東部へ逃げ去るとともに彼らは白旗を揚げた、ウイリヤムも通信技師一名を連れて出かけたが、すぐ捉へられた『たうとう俺の番が來た』としよげかへつてゐた、あの勇ましい皇軍が軍艦旗を先頭に上陸して來た時は私は三十年の苦労も一度にけし飛んでただ泣いて拜んだ

貿易支店の事務所もその一部にあつた、村長を住宅に訪れると彼はかつて英人行政官の下に總務代理職を監督し自治權をもつてゐたが、現在は皇軍の警備隊長として頼つてゐる、病院にはかつてニュージーランドで教育された島民の醫師がゐたが、いづれかへ逃避し島民の看護婦が代つて温かい治療の手を伸べ、島民繁感の的となつてゐる、わが南洋群島と大差ない模様だが、風土病は殆どなく睫病が少いため時折風邪が流行すると云ふ、道路には腰巻の男と簡單服の女が三々伍々散歩しわれわれが近づくと立止つて挨拶して『コナマウリー』(今日は)と會釋してゐた、彼ら最大の嗜好物は煙草で一本くれてやるとマシラのやうに椰子の木に登りコプラを御馳走してくれた、『コカパ』(有難う)『コカパ』と愛嬌をふりまき、平身低頭してゐた、十歳に満たない子供まで煙草を所望するのには驚いた

島民はすべて見事な體格でかつては猛者だと謳はれたが、十九世紀の初頭英國の保護領となつてから無氣力國情となつてしまつたといふ

この住民はサモア、トンガー、ミクロネシア系統のカナカ族でマキンには約一千七百名住んでゐる、教會には新教の牧師がゐるがじめギルバート方面の布教十年乃至五十五年に及ぶドイツ人一名、フランス人四名の宣教師が居り彼らは第一回會に『持たざる國日本の主張が正しかつたにも拘らず米國が認めなかつたのは、怪しからぬ、神は正義の國日本に勝利を垂れ給ふであらう』と交々語り日本の勝利を信じきつてゐる

この教會はさる四月から『マキン島皇民學校』の看板を掲げて學校となつた、教師は神崎氏を校長として七歳から十六歳までの兒童約百名を收容してゐるが最近入學志願者が激増してゐる、教材は南洋日本の公學校本科讀本卷一を使用し日本語を主として教へてゐるが、大部分の兒童はもう簡單な挨拶は日本語を用ひ、假名は殆ど習得するやうになつた、島民の最大の娯樂は踊りであるといふが、皇軍上陸後も時たま將兵のため踊つてみせる、われわれもその踊りを見たが男女の中にも英語の曲ひたリズムに合せて歌ひ踊る姿は悽々南國の情緒豊かである

踊りとともに歌も島民が喜ぶところで、われわれが島民

皇軍を歓迎した時の島民の青壮年で編成した音樂隊の伴奏に見事な『愛國行進曲』、軍艦行進曲などを四部合唱も鮮かに歌つて見せた、島民にとつては踊りと歌は生活の大部分で日々の出來事もすぐに音樂化され、踊りとなつてゐる

わが守備隊と米兵が激戦を交へたのは島政廳の附近で、島民の住宅や椰子樹に夥しい彈痕が生々しい、敵は二隊に分れ、南岸から上陸したが、波高くゴムボートが押し流され、漂流したまゝ海岸に漂りついたため指揮系統も滅茶々々となり、烏合の衆にひとしかつた、八月十七日午前二時半ごろ敵の第一弾が發射され、相手は椰子林の中で六時間餘りにわたり白兵戦がつゞいたといふ、わが○隊長散華の場所で當時を追想する

れば白旗を想かせて敵陣目指して切り込んだ勇姿が髣髴として浮かぶ、敵の上陸地點に立てば白波が静かに岸を洗つてゐた、敵指揮官が降伏旗を認めた島民の子の言も見た、敵はわが海鷲の大空を衝する飛機と見上すれずれの低空銃掃射に度肝を抜かれ一方守備隊の肉彈戦により屍山血河を築き降伏を島民に依頼して周章狼狽逃げ去つたらしい、九人の俘虜は一旦潜水艦に逃げ帰つたが收容のため再び上陸しようとした時、その潜水艦はわが海鷲に襲はれたまゝ海岸近くボートの上からこの惨劇を見てゐた九人の敵兵は母艦が二度と浮上しないのを見て島内に潜伏していつた、それを捕つたのである

敵兵を陸揚げした潜水艦二隻の内一隻は海底の藻屑となつたものと思はれる、俘虜と島民の口から確められたこの新しい戦果は『マキン島戦闘譜』に書き添らしたがこゝに附加へて置く、わが海鷲の誠爆に敵行した大陸楽まる猛烈に目覚した島民は日の丸を掲げたいろいろの形の飛行帽が椰子の葉で作られた帽子に來襲する度に敵兵は銃を捨てて空を仰いでゐたといつてゐる、この激戦にわが○○○三勇士が潰走しながら激戦の指揮をとり奮戦した○○二等整備兵曹、○○、○○上等整備兵曹の三勇士の遺骸は今も島民の手により大切に守られてゐるが當時の模様をつぎのやうに語つた

る敢闘な姿を見送げなにか胸にこみ上げるものさへ感じた、なかでもナアテチ(五二)といふ六十工の一家は特に親日島民としてわが軍に感謝され、島民と支那人の混血でその妻や男六人、女四人の家族全員が皇軍の警役をはじめ毎日々々戦死者の墓前に花を供へてゐる、そのナアテチは

『私は二十年南洋群島にゆきましたが天國のやうでした、今度の戦争がはじまつてすぐ日本軍が上陸した時は恐ろしかつた、英人の役人から聞かされてゐるとよく戦争の恐ろしいことをきかされてゐたからです、ところが事實は全く反對でこんなにまさしく平和に暮すことが出來ます、私達島民も日本の子供ですから親のため働きます、アメリカ兵が上陸した時彈運びのお手傳ひをして敵をさんぐ〃叩いて頂いたときは嬉しかつたです』

と日本語で記者に語せるやうになつた長子の通譯で感涙をあげてゐたこの大工の気持は全島民の気持となつてゐる、そして荷役、掃除、建設などに協力して喜々として働く彼等の顔には新しい時代に生きる喜びが満ち溢れてゐた

親日な大工の一家

この翌朝二時頃小銃弾が二發づつ聞えたが守備隊の實彈射撃と思つた、すると神崎さん(南貿支店長)が息せき切つて來られ米兵の上陸を知らせてくれ直ぐ本部に連絡した、守備隊は全員でその任務を守り帝國軍人として立派に責任を果したと信じてゐる

守備隊が敢闘して前進をはじめると友軍機が續々と爆音をたてながらつぎからつぎへと數知れず飛んで來たがその時の嬉しさ力強さは何といつていゝかわからない、地軸も裂けるばかりの爆撃でわれ〱がゐた前面の敵をやつゝけた時は身邊に彈片が飛び散るので一時防空壕に避退したほどだつた、すると間もなく壕の近くの道路に異様な響がするので覗くと日本の陸戦隊のやうな服装をした一尺位のナイフを腰にした敵兵がわが守備隊の乗り捨てた自動車に點火してその後方に機銃陣地を造つてゐるところだつた、敵は十人乃至三人だつたが三人口を揃へて『コラッ』と怒號するとともに日本刀を振り翳して追ひかけると一目散に逃げ去つた、その後姿を見て胆斗こそしてゐないが敵兵も服装もわが軍を眞似てゐる一目で判らぬやうに變裝してゐるのを見屆けた、背丈はどれもこれも六尺ゆたかの大男だが逃げ足も速かつた、いゝ氣持で壕に歸り夜明けから呑んでゐない煙草を一服してゐると二、三百メートル先で味方の勇壯な突撃の喊聲が聞えて來た、われわれは急いでそこを出てその壕の方へ行つて見ると敵の死體が累々とある間に交つて○隊長が敵兵を袈裟がけに切つたまゝ人の姿でピストル弾のため見事に散華され味方は殘敵を追つて前進しつゝあつた、かうしてわれわれは基地人として大過なく任務を果し得た

この戦闘以來島民はわが軍を『寄』と讃へ『神の使徒』と崇め心から敬服してゐる、島の北端に建てられた皇軍戦死者の墓標には朝な夕な多くの島民が参拝してわれ〱がそこを訪れたときも二三人の島民が草花を供へて合掌してゐた

永遠の女(34)

牧洋作 岩本正二繪

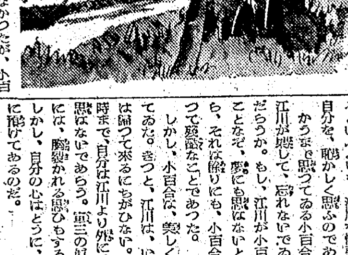
光と波(一)

金融が、畢生の事業として着手した『明星學園』は、もう授業が始められてゐた。

明星學園は、東大門外の駱駝山を背にした、小高い白土の丘の上にあつた。或る私立學院が、郊外へ新築移轉したあとを、買受けた赤煉瓦の古めかしい建物であつたが、内外をきれいに修繕し、机やその他什器一切を新調して、かなり清潔な、氣持のよい具合につくりかへられてゐた。

明星學園の開設と共に、小百合の新しい生活は始まつてゐた。

校舎の延長みたいなものであつたが、こゝでは今賃住を負はされて、專務もほとんど事務を、一人で受持たねばならなかつた。事務の仕事は、經濟と庶務の方だつた。しかし庶務といつても、彼女の理解からは、割りにお手當が聞いので、まづ屋敷と寝賃との間だたりの甚しいのに、少々がつかりした程だつた。その代りに、雑務といつても、責務はとらなかつたので、その方のうるさい關係務ではなかつた。ただ教科書や學用品一切を給與してゐるので、それらの購入分配の仕事が主だつた。學監は、盲教育への熱心を、他の學課の助力にしてゐた。よつて、つぎなつてゐた。



小百合は、朝早く、學校附近のアパートを出ると暗くなつて漸く歸るのだつた。それでも彼女はやはり切つてあるので疲れを知らなかつた。しかし、江川のことが、いつまでも惱みのたねであつた。亘三の頑健な態度に對して彼女が意識さを押し通させるのも江川が若き特別な存在として、彼女の心を占めて居つたからである。江川はちよい〱、京城あたりへ來るのに違ひない。一度でもよいから、江川に會つて、話してみたかつた。直接、江川の胸中を叩いてみないことには、他人の云ふことを、うのみにする譯には行かなかつた。といつて、亘三がためにする中傷をしたとは思はなかつたが、小百合の氣持としては、あくまでも、江川伸太を信じたかつたのである。さうと、何かわけがあるに違ひない。でなかつたら、江川は決して陰險な、非人間的な仕事は出來ない男だ。小百合は一時、裏切られた氣持で、亘三にも遂くなものいひ方をしたけれども、今はむしろそれを後悔してゐる程だつた。亘三は悪漢であつたことを後悔するといふよりも、江川を惜惜した自分を、恥かしく思ふのである。かうまで思つてゐる小百合を、江川が裏切して、忘れないであるだらうか。もし、江川が小百合のことなぞ、夢にも思はないとしたら、それは餘りにも、小百合にとつて殘酷なことであつた。

しかし、小百合は、美しく夢見てゐた。きつと、江川は、いつかは歸つて來るにちがひない。その時まで、自分は江川より外に男を思はないであらう。亘三の賢觀さには、胸裂かれる思ひもするが、しかし、自分の心はどうに、江川に預けてあるのだ。

或は、江川は歸つて來ないかも知れない。その時はその時だ。いつまでも、永遠に、自分は江川をのみ、黙つてゐるであらう——小百合はかたく、自分自身に誓ふのである。

さて、明星學園の生徒は、男女合せて百名内外だつた。人數からいふと、決して多いとはいへないが、いづれも貧民の子女ばかりで仲々手に負へない腕白な子供がほとんど半數であつた。それだけに、小百合はやり甲斐も感ずるのであるが、また時には憂鬱にもなるのだつた。或る日のことだつた。

小百合をまたも憂鬱にさせる一つの事件が持ち上つた。

大東亞戰史四部作
陸軍省企畫
マレー作戰 朝日新聞社編 東京市麴町區有樂町 朝日新聞社發行
ジャワ作戰 大阪毎日新聞社編 大阪市北區堂島 大阪毎日新聞社發行
ビルマ作戰 同盟通信社編 東京市京橋區 同盟通信社發行
比島作戰 讀賣新聞社編 東京市 讀賣新聞社發行
各冊B6判約三百頁價一圓五十錢

ラヂオ 30日

朝 七・〇〇『敵を知り敵に勝つ』前田多門、朗讀(レコード)▲八・〇〇(城)今日のお知らせ▲九・〇〇『勤勞への突進』鈴木舜一▲九・三〇(城)『鼻と呼吸器官の保護』(鮮語)趙東秀▲一〇・〇〇『ゲンキデウタヒマセウ』青い鳥童謠音樂園兒▲一一・〇〇朗讀と音樂『コモリウタ』

晝 〇・三〇パイプオルガン獨奏『大空の勇士』ほか井伊喬▲一・〇〇朗讀『聖戰所感集』岡野放送員▲二・〇〇學校新聞瀨戸放送員(城)同沖永放送員▲二・三〇(城)朗讀『湖のほとり』(鮮語)伊東▲五・四〇(城)國史譚『高山彦九郎』(鮮語)翠川寛

夜 六・〇〇(城)お話『十一月の出來事』西山力▲六・三〇(城)『聯盟情報』森田芳夫、芳村香道(鮮語)▲七・二〇日滿華三國締盟二周年記念交驩放送1『東京より』『君が代』『滿洲國々歌』『中華民國々歌』2『日華條約並日滿華共同宣言締結二周年に當りて』東條英機、汪精衛、張景惠(通譯)市川修三【新京】張景惠(通譯)松本益雄【南京】汪精衛(通譯)岡崎【東京】3管絃樂『亞細亞の力』東京放送管絃樂團▲八・〇〇浪花節『馬子唄吹雪』玉川勝太郎▲九・〇〇(城)浪花節『大村益次郎』(鮮語)▲九・二五(城)我國の兵役制を語る—對談—(鮮語)

獨沿岸砲活躍

ソ聯船に命中彈

【ベルリン廿八日同盟】獨軍最高司令部發表によれば獨逸沿岸砲兵隊は廿七日朝クロンシュタット灣の北部水路を通航せんとするソ聯艦船三隻、驅逐艦二隻に向つて砲火を浴せ巡洋艦一隻、驅逐艦一隻に砲彈を命中せしめた撤機の中一隻はカレリヤ半島沿岸に擱入、他の一隻は航行不能となり二時間後これを見失つたが、大型艦船が、來援したが獨逸沿岸砲兵隊はその目的を達せしめず救援艦にも損害を與へて進退せしめた

東草邑の展望

意氣に燃ゆる東草

新井邑長以下の挺身

東草邑は襄陽郡の北部端にあり西は雪嶽を界として北は土城面に南は襄陽面に界し東は日本海に瀕す、地勢は雪嶽山の續山たる一脈が相々として東に走り彌勒峯、金剛峯、天吼山『一名蔚山岩』を形成し之より二脈に分ち一は本邑の中央を迴過し朱陽峙、曽母山、大浦坡北を過ぎ海に臨く一は北部に走り東草里中に至りて鷲亭『一名臨海亭』及び松島となりその餘勢遠くに伏走し海中の沖合に躍び之を自鳥と言ふ、内陸奥の地には乏しく本邑は從來道門附近は所川面と稱し來りしが隆熙元年始めて面長を置き大正三年に至り道川面と改め昭和十三年九月一日東草面と改稱し昭和十七年十月一日東草邑に昇格實施に至る

民情は極めて温順純眞で國民總力運動以來一層國策の指導に努力し洋業移轉に流れず質業に生業に勤勉しつゝある新井邑長と一丸となり生産擴充、物資供出の円滑化、貯蓄報國、皇軍感謝品募集等に滿腔的努力をなす傍ら今や般の個業施設に依り意氣込を得た邑民と共に好機到來とばかり多年の懸案たる▲東草港の御造營▲京城道の新設▲公會堂の建築▲東草港一期工事完成促進▲襄陽鐵山搬出線現促進▲東草港一期工事完成促進等の地方發展に翼賛的努力を拂びつゝある

邑長新井秀雄氏は當年五十二歳の老齢を以て少壯を凌ぐ元氣旺盛で國防服で東奔西走邑政準備に没頭してゐる、その眞摯さは何人も感激してやまぬ所である、氏は明治四十五年二月本府臨時土地調査局員養成所事務員養成科を優秀な成績で卒業しその後本府臨時土地調査局雇員に採用され、大正六年八月書記、技手に累進し昭和二年一月同職を辭し大浦金融組合監事に被選すると共に同年四月江原道評議員に當選されて以來地方發展に盡瘁し昭和三年十二月道川面長を拝命以來面政に參畫して前記の如く獻身的努力を拂ふ傍ら昭和五年四月大浦金融組合長に當選その後同長に當選すること四回に上り去る十月一日東草邑制實施するや初代邑長として認證される【寫眞=新井邑長】

邑制實施に就て

新井邑長

多年懸案の邑制施行が今回日から實施され大東草邑の誕生を見るに至つたことは邑民各位と共に欣喜に存ずる次第である、これ偏に上司をはじめ關係方面の多大なる御配慮の賜と深厚なる謝意を表すると同時に邑民各位の不斷の努力と一致團結の意義心によつて日進月歩駸々として發展への過程を辿つて來たことは歴實に堪へませぬが我が大東草將來の使命に想到するときは實に責任の重大を感ずるのであります、東草港は昭和七年十一月六日起工以來幾年面目を一新し來りたる處昭和十六年六月第一期工事の竣工を見一層港の面目を改めつゝありなほ東草、襄陽間の二等道路は本年末既に着工せられ現に一里位の工事を進めつゝあるが何よりも本邑の眞價を發揮するには京春鐵道の東草延長を先決問題とし邑民の熱誠を擁し邑制實施の運びとなりたる處以上の諸問題を解決するべく近からんことを祈り邑民の熱意を表すると共に各位の御指導御鞭撻を賜らんことを切望する次第である

東草邑に於ける漁期の殷賑ぶり

東草漁業組合

大山河本兩氏の好指導

鏡く東海岸時代の趨勢をなす東草港今や時と地の利と人の和の三拍子揃つて一躍國際間の港としてその名が知られ邑勢發展に繋ぐ海陸交通貿易の要衝となり漸く漁港としての名が知られる東草港灣は正に驚異的の存在である その搦に潜む開拓者として血の滲む努力をなし漁港として面目を新たにし東草漁業組合は十五年十二年設立し、その區域は北は杆城漁業組合に隣接し南は仁原漁業組合に隣接し四ケ面に亘り海岸線十四キロ民の大半は漁業に從事し漁業組合員も增加するの數は漸次増加しつゝある、區域内の漁村は東草里を始め大浦里、内物淄里、外物淄里、論山里、大浦里、水山里、道里、利昌里、水山里等で所々に港灣あり漁港の漁業の利に恵まれ、鰯巾着網、定置漁業の鰤、鯖網、地曳網、巾着網、流網等の各漁業七百五十餘隻漁船により三千八百餘人に達し漁撈漁期に當り、從來は不完全なる期漁業及び漁撈の殷賑に進みしてその收獲も數十隻だつたが最近は改良漁船數增加し從業員も漸く漁港能力を發揮しつゝある

七十萬円以上でそれに次ぐ鰯は東草鰯油肥の加工事業の鰯油肥年額三十萬圓、鰯漁期の鰯漁肥が造殖し年々増産の一途にあり東草漁業の殷賑ぶりで鰯は最近に至り興盛餘萬円に達し將來有望視されその他各種の少漁業は年額五十餘萬円の漁獲高を示しつゝあり漁業種類は鰤定置網、鰯巾着網、鰯刺網、鰯流網等の各漁業で東草港を中心として漁業及の漁具漁網など漸次發達し實業の發展に伴ひ東草の漁業は北に隣接し南は大浦の前面に續き北は鰐浦より北は東草邑地先鰯漁業に百り漁獲高

新しく來りたる處昭和十六年六月中邑勢を改めつゝありなほ東草、襄陽間

職域奉公に專念

東草繁榮會長 大原清治氏

東草繁榮會長大原清治氏は大正六年四月京城東洋協會殖民學校を卒業し同校三年を修了後、水産業に從事し專ら定置網漁業及び明太魚漁業の經營に從ひ大正十四年四月大浦漁業組合長に選ばれ昭和四年四月東草漁業組合長に任ぜられ昭和六年五月江原道漁業組合聯合會議員として斯業界に盡瘁の努力をなした、昭和十一年七月には更に繼續推薦さ

濱田組油肥工場

氣鋭の士 濱田勝太郎氏

東草漁業界の中堅人物として漁業の發展に貢獻する濱田組主濱田勝太郎氏は慶尚北道出身當年三十五歳、釜山商業學校を卒業後東草に來り其の志に燃えて二十の歳から東草に於ける濱田組に入り繼承して今日に至り東草漁業界の第一線に躍り出して活躍の場を開拓し鰯油肥の製造加工を營み、漁撈水揚げでも年額二十萬、六萬円に上る…など無盡藏の海の幸を搾取してその前途は洋々たるものがある【寫眞=濱田氏】

東草金融組合

和田理事以下の滅私奉公

邑制實施と共に東草の飛躍に對應し、一般金融機關として益々その重きをなすに至つた東草金融組合は昭和二年一月二十日設立し同年一月三十一日業務開始をなし爾來東草邑の發展に寄與し組合員は現在二千七百餘人を擁し上と歩調を合せ和田理事を始め全職員一丸となり生産擴充と國民貯蓄の遂行に挺身奉公しつゝある更に和田理事は現在組合員の増加と組合の經營を一層充實して地方金融の使命を全うせんと着々所期の成果を擧げつゝある

土木課東草派出所

宮森主任の獻身的努力

東草港に降り立つて先づ見受けられるのは雄々として大自然に抱かれて幾千萬年いつしか市街建設の大障碍として取殘された小高い丘も一度近代科學の銳利なメスにより、ダイナマイトの爆音と共に破壞し、切下げた岩石と土はトロッコの響と共に海岸の低地を埋立する、此の現實こそ眞の東草發展に一役をなすと共に東草邑制實施を見ることに始めた譯である

東草港は昭和七年第一期工事として商船並漁船の避泊地として漁船の安全碇泊地とし同時に將來の貿易港たる埋立完成、第一期工事は漁港の錨地を圖り天然の地形を利用し北防波堤を築き長堤泊地を得て大汽船を入港せしめる計畫で更に第三期工事を完成して港内の土を以て周囲の埋立をなし岸壁及荷役設備の充實を期すると同時に東草港完成のための最大の努力を傾注して居り、その施工に當り現在東草派出所主任宮森善四郎氏は江原道土木課東草派出所主任として東草に當つて居る

宮森主任は北海道出身で當年三十三歳の少壯技術者で北海道札幌市生れ明治三十年江原道に就職し昭和六年北海道の偉大なる抱負經綸と強靭なる指導的補佐を有し昭和六年北海道帝國大學付屬專門部を優秀な成績で卒業し昭和十六年四月東草派出所主任に着任後現在に至り日夜勤務の工事に挺身し各種の事務を完全に成果を遂げつゝあり、誠に頭の下る人物で、その人物に期待する所大である【寫眞=宮森所長】

平和醫院

誠實なる禹宮氏

東草唯一の平和醫院は、醫療設備完備の陣容で多年郷々の信望を集め人々に親しみ多い病院として知られて居る、禹宮醫院長は當年四十六歳にして大正七年三月京城醫學專門學校を卒業し大正七年三月京畿道立醫院に勤務し、昭和五年三月京畿道立醫院を辭して開業し、昭和十三年四月より東草に於て平和醫院を開業し内科、小兒科、婦人科に精通なる好評を博し仁術を施して醫療報國に邁進する【寫眞=禹宮氏】

高山裁東氏

稀に見る人格者

昭和十五年五月東草金融組合理事に就任し現在に至る高山裁東氏は京城府出身で當年四十二歳、京城高等商業學校を卒業し一路金融組合に身を投じ昭和九年京城第二金融組合理事に勤め昭和十六年四月東草金融組合理事に就任した篤實温厚なる人格者である【寫眞=高山理事】

邑の實施に就いて

高山道議語る

本邑多年の懸案東草邑制が實施されたので邑民は勿論全部民は何れも喜びに堪へぬ次第であります、當港は東海岸の中部に位して水産交通の要衝に當り附近では優良漁場を控へ其の水揚げは逐年増加の趨勢を示し東海岸有數の漁港であります、昨年六月から東草港の第二期築港工事に着手して以來順調に進捗中で一方多年の宿望である京春鐵道東草延長敷設が實現されれば其の發展は一層期待されて行くべくこの發展性を實現化するには以上の自然的要素の上に人的要素として人の和が最も大切であると考へます、龍虎も共に鬪へば共倒れに終ると云ふことを思ひ、本邑は千年河清を待つの思ひで望むべからずであると思ふのであります、弱小の輩も團結協力すればよく猛虎をも倒すといひます、床はふべき言葉ではありませんか、宜しく官民一致融和互に反省自粛して小我を去り大同團結し個人主義を捨て全體の發展に協力奉仕を繼續することが最も大切で之に依つてのみ真の發展が出來自己も子孫も永遠の福祉を享有することが出來ると信じます、邑制實施に際し所感の一端を述べて將來を祝福致します【寫眞=高山氏】

タイプライター 販賣 講習 修理 橋本タイプライター商會 京城黄金町二ノ一〇 電⑤5542 鮮内營業所 平壤・太邱・咸興・鎮南浦

會計檢査、會社設立 會社解散並ニ清算事務 決算事務 新税務 計理士 香川弘 京城府… 電話本局六六〇五

性病 科外泌尿器 醫學博士 高峰潔 (西大門鶏籠前) 電光⑧三六六

プリント(謄寫) タイプ印刷

女医 赤十字病院正門前 専門 西大門醫院 小児科 婦人科 産院

美術謄寫印刷所 山彦詩舍 謄寫工房

性病科専門 洪震求医院

入院 産婦人科 醫學博士 安田啓 京城旭町二(三越裏側上ル) 電話本局②四六五五番

皮膚泌尿 性病 自宅四時 夜間診療 厚生醫院 長橋町四九

博士創製の毛生え薬 ミナイシ 毛生え薬ミナイシは農學博士の研究によるもので毛生に必要な養分を含み… 東京薬院 發賣元 東京市芝田村町

ツキ板 三和ツキ板商會 京城西大門一ノ九八

京日案内

案内料金(前金) 一件一回 一號型(三行) 金壹圓五拾錢 二號型(五行) 金貳圓五拾錢 三號型(十行) 金五圓 求職一號型 金壹圓

一號型(三行)
家庭教師 …
用達 …
洋服 …
女中 …
傳貰 …
貸家 …
求む …

二號型(五行)
急募 …
美容 …
賄婦入用 …
譲受を求む …
求貸倉庫又譲受 …
賄婦を求む …
事務員 …
自家用車夫入用 …

三號型(十行)
小社員採用 …
女子計算 …
債券最高金融化 …
各道支局長募集 …
東洋寫眞新報社 …
採用 …
東洋寫眞新報社 …
女子事務員採用 …
朝鮮陶磁器商 …
女事務員募集 …
中外鑛業株式會社 …
女店員募集 …
求む土地付建物 …

新富座 二十九日より三十日(二日間) 綜合演藝團
桃花劇場 素晴らしき金鑛 ロッパの新婚旅行
浪花館 ニュース 文化映畫 八荒流騎隊
大陸劇場 二十六日より 日本ニュース 防空讀本 南の風
京劇 廿五日より 日本ニュース 勝利への清算 磯川兵助功名噺
城寶 十一月廿五日より ニュース 勝利の生産 磯川兵助
和信映畫館 廿六日より 日本ニュース 花つみ日記
東洋劇場 青春座公演 二十七日より 春香傳

城南劇場 二十八日より 秋吉台 柳生大乘劍 野いばら
中央劇場 江戸の龍虎 歌へば天國
若劇 十一月二十五日より ニュース 東洋の凱歌 歌ふ狸御殿 船を造らう
喜樂舘 十一月二十六日より 日本ニュース 防空讀本 南の風
喜文化映畫劇場 1峠の軌道 2漫畫鹽原多助 3酒(さけ) 4ホームグラフ 5ミイラの秘密 6日本ニュース
京鐘路文化劇場 二十六日より 潰滅する重慶陣營 明暗二街道 日本ニュース
朝日座 二十七日より 今泉伍朗と其一座 熱河の月
明治座 船を造らう ニュース 東洋の凱歌 歌ふ狸御殿